

川西町中心市街地活性化基本計画  
アクションプラン

平成27年5月

山形県川西町



## I 計画の基本方針

### 1 計画の目的、位置づけ

この計画は、平成16年3月に策定した「川西町中心市街地活性化基本計画」について、策定後10カ年における事業の進捗、評価、検証をふまえ、社会環境の変化や将来の予測、まちづくりの課題に対応した実効ある行動計画として事業の見直しを行うものである。

### 2 計画の期間

この計画は、本町まちづくりの基本指針として新たに策定される「第5次川西町総合計画」の計画終期にあわせ、平成27年度から平成37年度までの11カ年を計画期間とする。

### 3 中心市街地の範囲（計画の区域）

本町は、将来の適切な都市環境を実現するために川西町都市計画マスタープラン（平成25年3月策定）を策定している。

都市計画マスタープランでは、“市街地”の土地利用区域として「用途区域」を指定し、現在、羽前小松駅西側から諏訪橋までを範囲としている。

しかしながら、駅東地区は住宅地の拡大とともに、大型商業施設の出店など、今後とも駅東地域へ市街地機能の拡大が予測されている。

また、諏訪橋の西側区域は、企業の集積や拡張など、今後、市街地における主要な工業地域としての活用が期待される地域である。

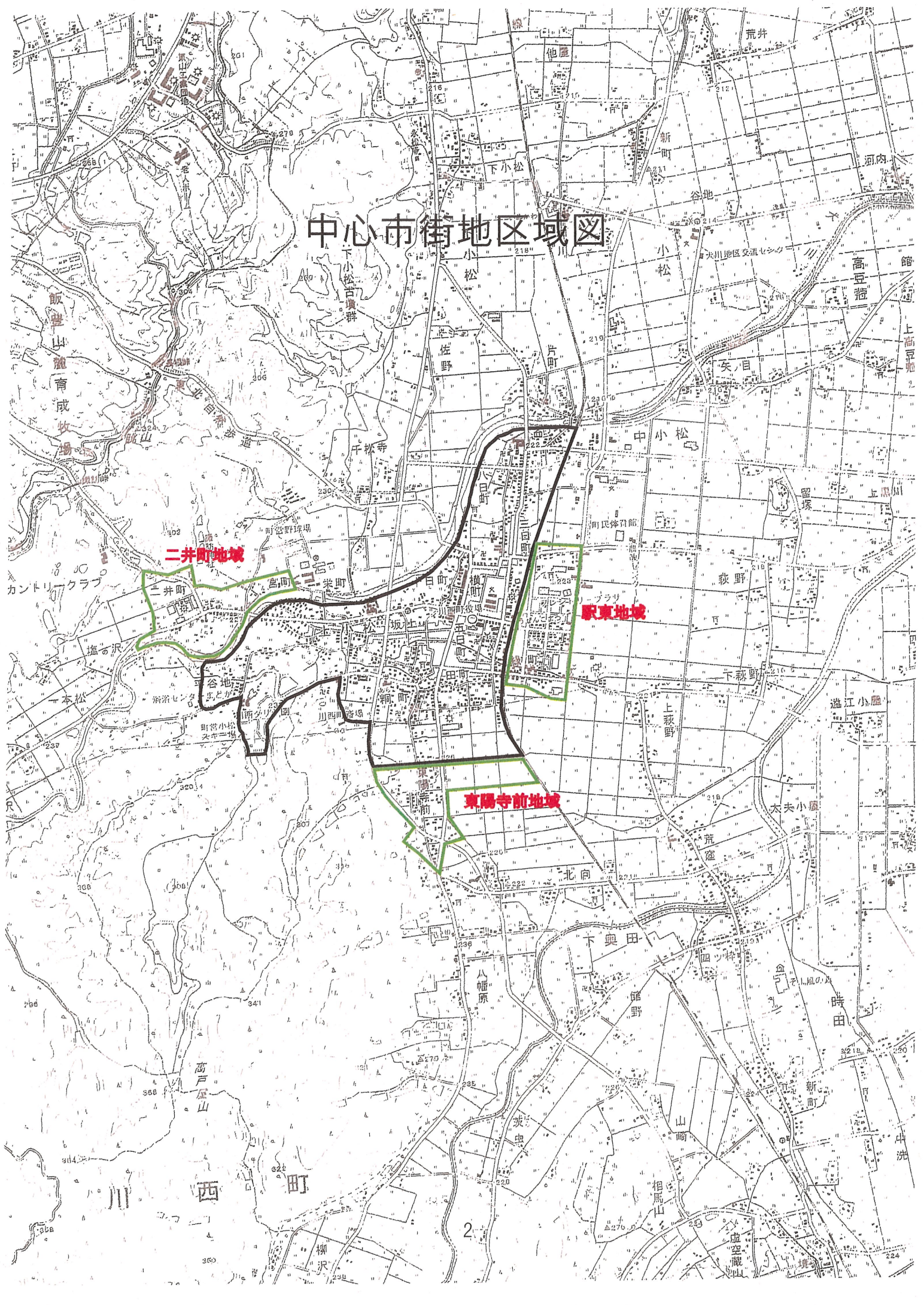
このようなことから、本計画における中心市街地の区域は、従来の用途区域に駅東地域、二井町地域とともに東陽寺前地域を加えた「都市計画税課税区域」の範囲を計画区域とする。

# 中心市街地区区域図

二井町地域

駅東地域

東陽寺前地域



## II 現計画における事業の評価

### 1 評価の進め方

川西町中心市街地活性化検討委員会において、各部会ごとに事業の取組みの経過、実績、達成状況をもとに評価を行った。

### 2 評価事業

事業区分		都市整備部会	まちづくり部会
市街地整備改善のための事業	18事業	16事業	2事業
商業活性化のための事業	22事業	2事業	20事業
その他の事業	5事業		5事業

### 3 評価指標

評価指標	評価基準（進捗の目安）	
5	計画どおり実施されている	90～100%
4	概ね計画内容に準じて実施されている	60～80%
3	事業は実施されているが内容の工夫が必要	40～50%
2	事業の取り組みが遅れている	20～30%
1	検討したが事業実施の見込みがない	0～10%
0	実績なし	0%

### 4 評価結果

評価指標	都市整備事業		まちづくり事業	
	件数	割合	件数	割合
5	5	27.8%	4	14.8%
4	2	11.1%	5	18.6%
3	4	22.2%	6	22.2%
2	1	5.6%	6	22.2%
1		0%	6	22.2%
0	6	33.3%		0%

※施策評価総括表はP 5に掲載

### 5 評価総括

#### (1) 市街地整備改善のための事業

主要幹線の道路整備では、主要地方道高島川西線が完成、国道287号の犬川から高島川西線までの事業着手、西回り幹線においては、中郡米沢

間の整備に向け調査が開始され、町中心市街地への誘導の利便性向上が期待される。

住宅施策では、若者向け住宅支援補助制度の創設や住宅リフォーム補助、町営平谷地住宅の移転整備が着手された。

ふれあいの丘整備事業では、置賜公園の利活用が検討課題であるが、ダリヤ園管理施設の整備をはじめ、浴浴センターまどかのリニューアル整備及びパークゴルフ場の整備に向けた取り組みが着手された。

一方、市街地道路のバリアフリー化、雪対策、案内看板等の統一したサイン整備、商店街の景観形成の施策は実行に至っておらず、高齢化社会への対応や街中回遊に向けた施設整備が課題である。

## (2) 商業活性化のための事業

街中回遊の取り組みとして「ひょうたん島」を活かした展示、スタンプラリーが継続して実施されている。

また、市街地活性化や地産地消の取り組みとして、通年では「こまつ市」の開催をはじめ、初夏の「さなぶりまつり」、秋の「駅前ほこ天」、冬の「キラリン市」などが開催されている。

一方、空店舗の活用として、主婦の店や純そばの会、だり庵の取り組みが展開されたが、運営経費の負担が課題となり継続は困難であった。

情報社会や高齢化社会に対応した宅配サービスやインターネット事業の取り組みは、検討されたものの実行には至らなかった。

リーダーやコーディネートを担う人材、後継者の育成に対する評価が低く、若手事業者の人材育成、研修に関わる取り組みが課題である。

## (3) その他の事業

協働のまちづくりとして、各地域において地区計画が策定され、住民主体のまちづくりの意識は高まってきている。

市街地の活性化に向けては、計画の初期段階において事業者主体のTMOが組織化され一定の実働成果はあったものの、計画期間後の組織継続に至らなかった。現在、民間主体である山形かわにし綾プロジェクト推進協議会が組織され、駅前周辺を核とした市街地活性化の取り組みが展開されている。

町総合計画におけるまちづくり委員会をはじめ、各個別計画においても町民代表による施策の点検評価が進められており、計画推進やまちづくりにおける町民参画の手法には一定の評価がみられる。

『施策評価総括表』

1 市街地整備改善のための事業

(1) 道路の整備

事業名	区分	評価
主要地方道高島川西線道路改良事業	都市整備	5
広域道路米沢長井道路整備促進	都市整備	4
西回り幹線道路整備事業	都市整備	3
回遊者のための道路改修整備事業	都市整備	2

(2) 回遊者をつくりだすための整備

歴史街道探訪事業	都市整備	0
歴史・観光案内サイン整備事業	都市整備	3
広場・駐車場整備事業	都市整備	0
観光情報の発信事業		3

(3) 交通対策

駅東西地区交流アクセス整備事業	都市整備	5
雪対策事業	都市整備	3

(4) 住宅整備

町営住宅建設事業	都市整備	5
----------	------	---

(5) 公園・広場の整備

小松城址整備事業	都市整備	4
----------	------	---

(6) 観光拠点の整備

ふれあいの丘整備事業	都市整備	5
------------	------	---

(7) 交流拠点の整備

町民駅（JR羽前小松駅）駅舎改築事業	都市整備	3
--------------------	------	---

(8) 環境整備

バリアフリー化事業	都市整備	0
美しいまちづくり事業	まちづくり	5
街路灯整備事業	都市整備	5

(9) 歴史的建造物・景観の保存

歴史的建造物の保存・活用事業	都市整備	0
----------------	------	---

2 商業活性化のための事業

(1) 商店街の整備

事業名	区分	評価
商店・商店街の整備、街中景観形成事業	都市整備	0
個性ある建築物活用事業	まちづくり	1
テナントミックス・共同化事業	都市整備	0
地域特産物開発・販売所設置事業	まちづくり	3

(2) 空き店舗対策事業

チャレンジショップ事業	まちづくり	3
体験観光推進事業	まちづくり	2

(3) 顧客サービス向上事業

宅配サービス事業	まちづくり	1
インターネット活用事業	まちづくり	1
スタンプ事業	まちづくり	5

(4) 商業の振興のための事業

中心市街地活性化対策事業	まちづくり	4
若手・商業者育成支援事業	まちづくり	2
商店街活性化研修事業	まちづくり	2

(5) 観光・イベント事業

文化財特別展開催事業	まちづくり	2
屋台を利用した縁日開催事業	まちづくり	1
商店街情報提供・イベント開催事業	まちづくり	4
街中絵画・書道展開催事業	まちづくり	2
街中歴史・博物館事業	まちづくり	3
達人、腕自慢のいる商店街づくり事業	まちづくり	1
スタンプポイントラリー事業	まちづくり	4

(6) 特産品開発、地産地消の推進事業

一店逸品・いちおし商品開発事業	まちづくり	2
地産地消推進事業	まちづくり	3
物産振興事業	まちづくり	4

3 その他の事業

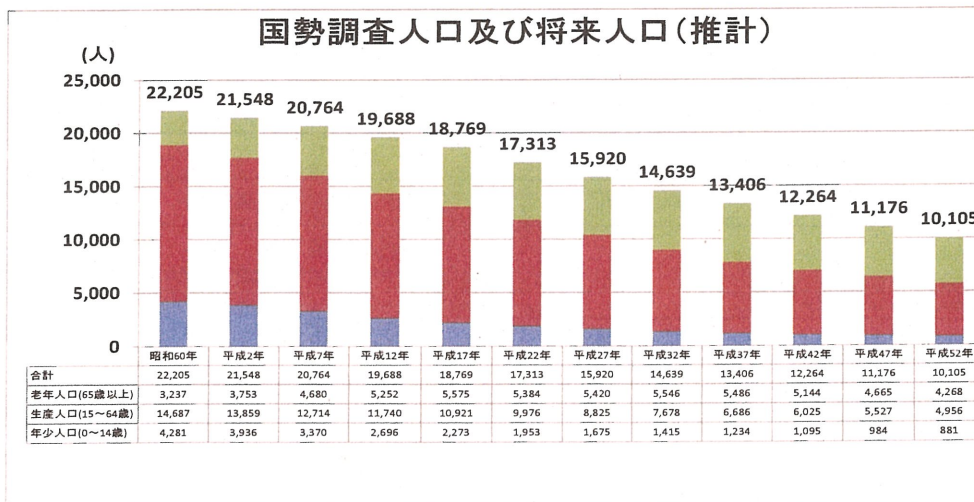
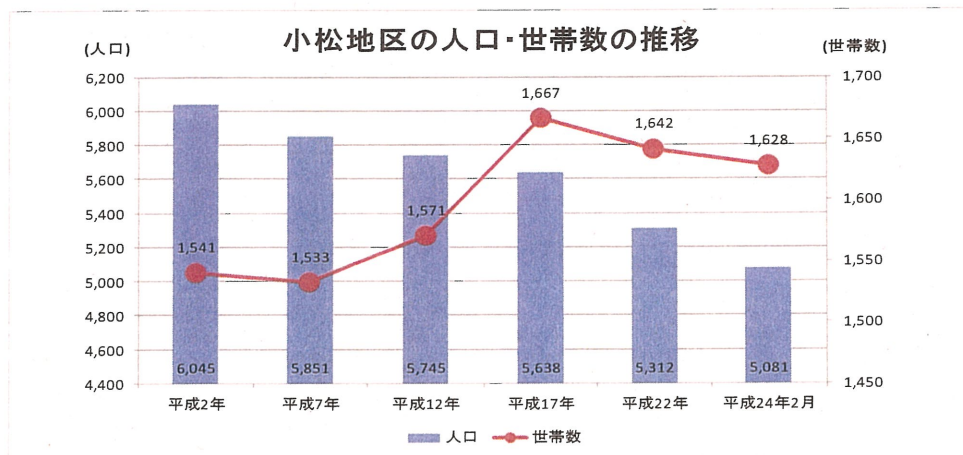
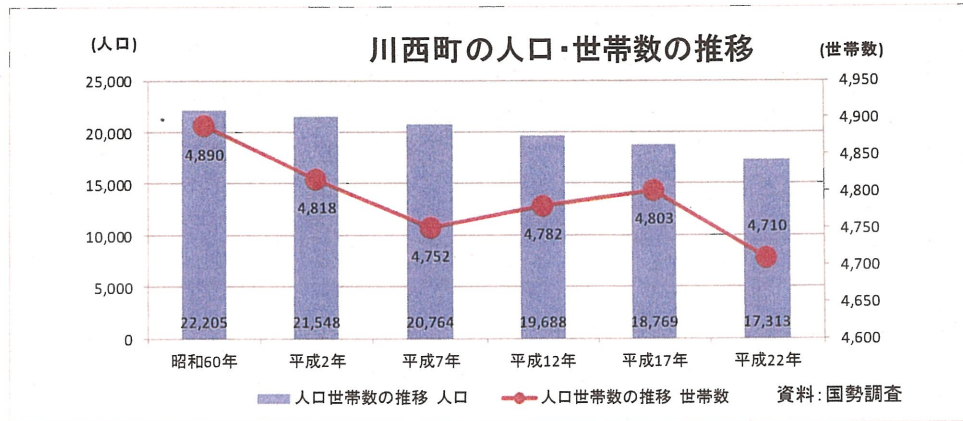
(1) 町民参加

事業名	区分	評価
協働のまち推進事業	まちづくり	3
ダリヤの里かわにし夏まつり開催事業	まちづくり	5
地域子育て支援事業	まちづくり	1
放課後児童クラブ設置運営事業	まちづくり	5
街づくり創造事業	まちづくり	4

### Ⅲ 計画策定における課題の整理

#### 1 数値でみる現状、推移

##### (1) 人口・世帯数の推移





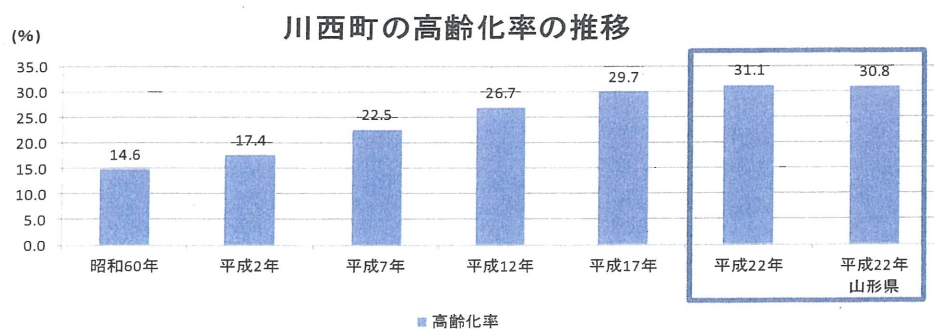
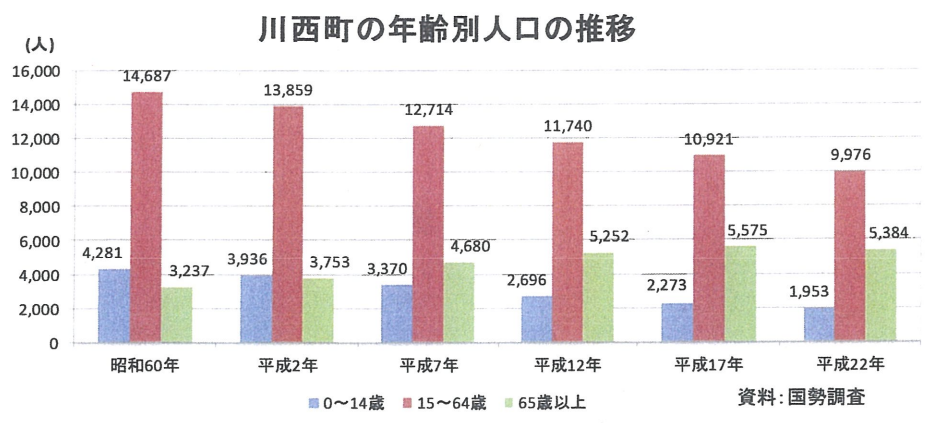
町全体の人口、世帯数の推移（資料：国勢調査）をみると、計画当初の直近である平成12年と比べて、人口で2,375人、世帯数で72世帯が減少している。

一方、中心市街地を有する小松地区の推移（資料：住民基本台帳）をみると、平成12年と比べて、人口で664人が減少し、世帯数は57世帯が増加している。

小松地区における世帯数の増加は、平成9年から分譲を開始した美女木ニュータウンによる駅東地区の住宅及び商業施設の形成、民間によるアパート等の集合住宅の建設が要因であり、平成17年に1,667世帯まで増加したものの現在では減少してきている。

また、本町の将来人口の予測（資料：国勢調査／国立社会保障・人口問題研究所）によると、本計画の最終年度である平成37年には、人口が13,406人と減少が加速するものと予測されている。

## （2）年齢別人口の推移

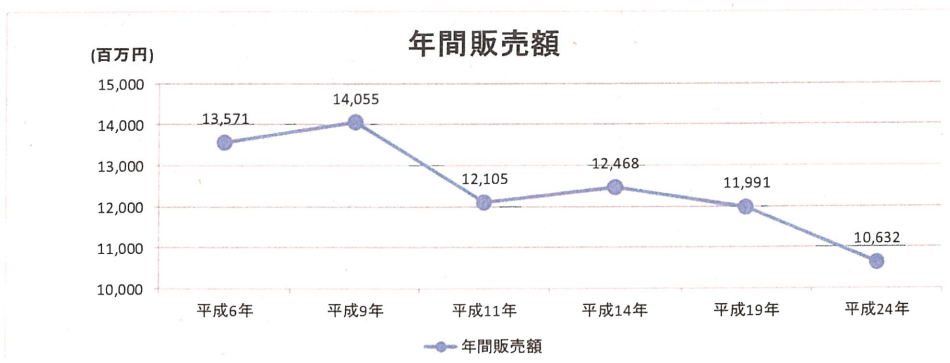
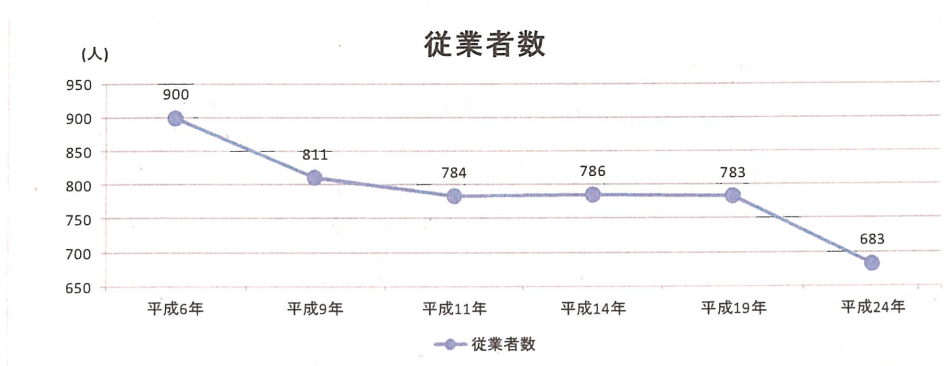
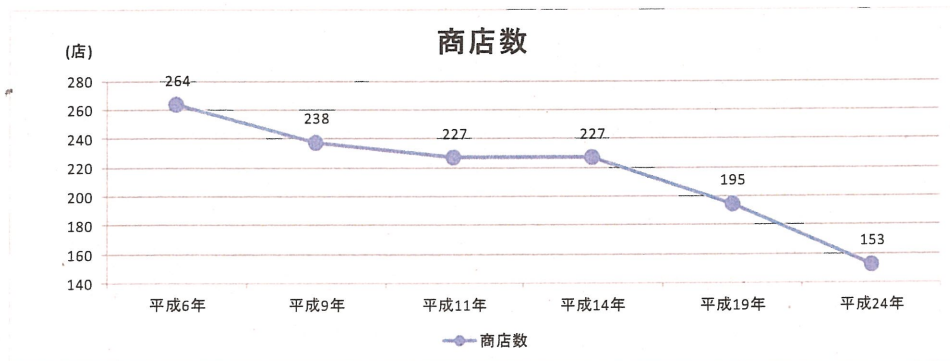


年齢別人口の推移（資料：国勢調査）をみると、計画策定当時の直近である平成12年と比べて、0～14歳の年少人口は743人、15～64歳の生産人口は1,764人が減少し、65歳以上の高齢人口では132人が増加している。

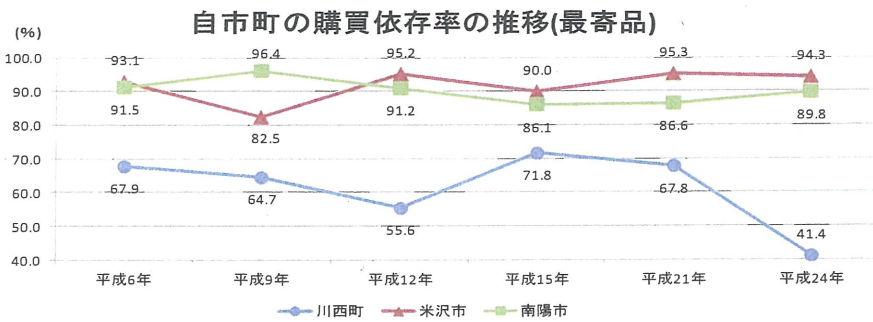
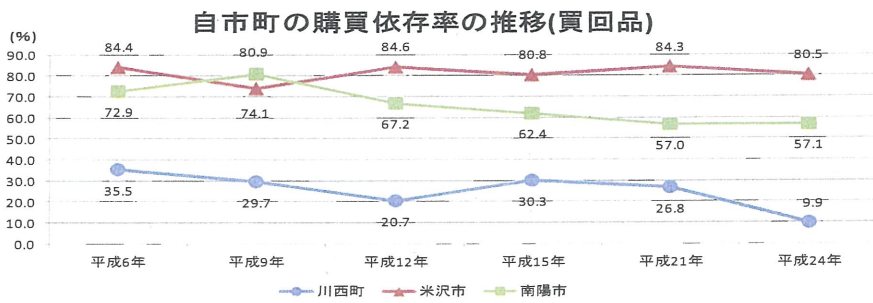
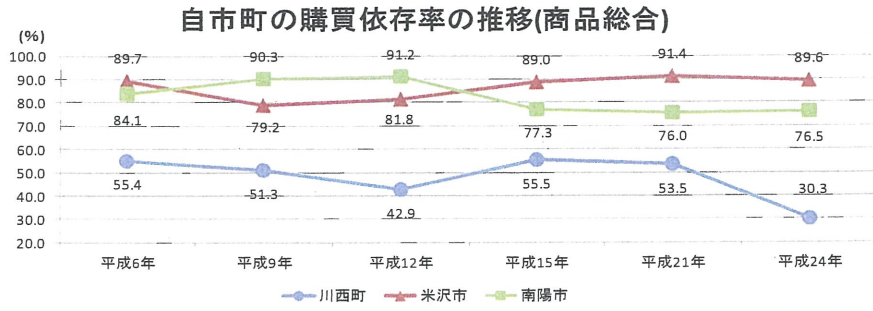
高齢化率の推移をみると、平成12年と比べて、4.4%が増加し、全人口の31.1%を占めており、山形県の平均値より上回っている。

また、将来人口の予測では、平成37年の年少人口は1,234人、生産人口は6,686人となり急激に減少することが予測される一方、65歳以上の高齢者は5,486人と微増が見込まれ、超高齢化社会への対応が今後のまちづくりの大きな課題となっている。

### (3) 商業環境の推移、動向



本町の商業環境の推移（資料;山形県商業統計調査）をみると、計画策定当初の直近である平成14年と比べて、商店数では74店、従業者数では103人と著しく減少しており、このことから年間販売額も18億3千6百万円の減少となっている。



町内における購買依存率の推移（資料;山形県買物動向調査）をみると、商品総合で30.3%、買回品で9.9%、最寄品で41.4%となっており、米沢市や南陽市と比べても、町内での購買が低く、他市町への依存度が高い。

平成15年と比べて他市町への依存傾向が著しく表れており、商店の多くを占める中心市街地における商業環境の低迷は著しい。

## 2 計画策定における視点、まちづくりの方向性

第5次川西町総合計画の策定にあたり、平成26年9～10月にかけて町民を対象にまちづくりに関するアンケートを実施した。

本計画の策定にあたり、アンケートの結果を参考にしながら、まちづくりの課題、方向性を計画に反映するものとする。

### (1) まちづくりアンケート調査報告書（抜粋）

※資料編添付

### (2) 計画策定の視点、方向性

#### ①まちづくりについて

まちへの住みにくさ（問2）では、「就労の場が少ない」、「自然環境が厳しい（雪が多い）」が多く、次いで「通勤・通学の不便さ」、「買い物がしにくい」となっている。

まちづくりで力を入れるべき点（問3）では、「産業振興」、「雇用の確保」、「人口流出抑制（定住促進）」、「除排雪体制の充実」の回答がほぼ同率となっている。

問2、3をみると中心市街地の小松地区では、特に、「雪」に対する回答が他地区と比べても高い回答となっている。

まちづくりの方向（問4）では、「産業振興と働く場所」が最も高く、次いで「若者が集い、賑わいと活気あるまち」となっている。

人口減少が進み高齢化率が高い本町では、将来にわたり持続可能なまちづくりを進めていくには、働く世代である生産人口の減少率を少なくするとともに高齢化社会を見据えた施策づくりが課題である。そのためには経済活動を支える就労環境、子育てや商業環境など、若者が定住しやすい環境づくり、高齢になっても住み続けられる安心な生活環境が求められている。

特に、生活活動に密接に関わる道路環境については、市街地への誘導、交流を促進する幹線道路の整備、ネットワーク化をはじめ市街地の軸となる狭隘な国・県道路の路面改修や歩道改良、克雪への対応など具体的な取り組みを進め、通勤や通学、高齢者が安心して生活できる環境整備を講じる必要がある。

## ②商工業の振興、雇用の確保・拡大について

商工業の振興（問7）では、「大型商業施設や工場の誘致」を期待する回答が多く、次いで「中心市街地の活性化」であるが、小松地区では中心市街地への回答が1位である。

また、「イベント開催やサービスの充実」、「起業や新分野への進出」も回答が多い。

雇用の確保・拡大（問9）では、「企業誘致」が最も高く、次いで「大型商業施設の誘致」となっており、20～30代の若者層では「大型商業施設」への期待が高い。

商業の活性化については、イベント開催による賑わいづくりや顧客ニーズに対応した事業者個々の魅力づくりとともに商店会組織の活性化、リーダーや後継人材の育成を図り、賑わいを創出する活力が必要である。

雇用環境では、新たな企業の誘致への期待は大きいものの、現実的には容易でなく、既存企業と情報交換を行いながら、操業を継続し伸長拡大を支援していくための土地利用の促進や通勤や流通に資する交通対策等の環境整備に努めていく必要がある。

## ③町の自慢、観光振興について

町が自慢できるもの（問5）では、70%が「ダリヤ園」と回答しており、次いで「フレンドリープラザ」となっている。

観光振興の方向性（問8）でも「ダリヤ園など既存の観光施設の充実」を推す回答が多く、「川西町＝ダリヤ」というブランドイメージは健在である。

中心市街地には、駅西地域の観光拠点であるダリヤ園、置賜公園、ハーブガーデン、浴浴センターまどか、内山沢遊歩道、駅東地域にはフレンドリープラザ・遅筆堂文庫、そして多くの商業機能が立地しており、観光や交流によってまちの魅力が引き出せる可能性、優位性がある。

市街地の多様な資源を活用して、街なかに人を呼び込み、交流を拡大するための工夫が求められている。

#### ④高齢化社会への対応について

高齢化への対応（問 11）では、介護に関する回答率が高く、町民の介護や医療への不安が表れている。

次いで、「交通手段の確保」も高い回答率となっている。

公的機関や商業施設が集中する中心市街地にあつては、高齢者が安心して活動できるための交通施策、道路環境、雪対策への取り組みが必要である。

#### ⑤少子化・子育て対策、定住対策について

少子子育て対策（問 12）では、子育て世代の 20～40 代では「子育てや教育に対する経済的な支援」が高く、50 代以上では「若者の定住促進」の回答率が高い。

次いで、「子どもが遊べる場所・親子で過ごせる施設の充実」、「保育施設の充実」となっている。

若者の定住対策（問 13）では、「雇用の確保」が 50 % を超え、経済活動を支える就労環境の確保への期待が高い。

子育てや住環境では、遊びと交流の場としての広場・公園の整備を検討するとともに、若者の住宅建設に対する支援や民間における集合住宅の整備を促進し、市街地における居住環境の改善を行う必要がある。

#### ⑥協働のまちづくり、防災体制について（問 16、17）

協働のまちづくりに必要な取り組み（問 16）として、「行政情報の積極的な情報提供」が最も高く、次いで「地域づくり活動の支援」、「町民と行政が対話する機会の充実」の順となっている

防災体制（問 17）では、「災害情報の伝達体制、設備の整備」が約半数を占め、次いで高齢者や障がい者等の「災害弱者、要支援者への対応整備」、「防災施設の整備、充実」、「自主防災組織の充実」の順となっている。

地区交流センターを中心として、地域住民やまちづくり団体、商店会組織等が連携・情報共有し、まちづくりや防災における初動体制の構築など地域活動と連動した取り組みをより一層高めていく必要がある。

#### IV 事業計画・アクションプラン

実施主体	行政／（国、県、町）、事業者／（商店、企業、個人事業者） 団体／（商工団体、商店会、交流センター、観光協会、NPO等各種団体） 地域／（町民）、協働／（連携して行うもの）
実施時期 （事業着手）	短期／（概ね1～3年目、H27～H29年度） 中期／（概ね4～7年目、H30～H33年度） 長期／（概ね8年目以降、H34年度以降）

### 1 市街地整備改善のための事業

#### (1) 道路の整備

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
幹線道路のネットワーク形成事業	国道287号規格の高い道路の整備を促進し、市街地とのネットワークを形成する	行政 (国)	長期	地域整備課
	新潟山形南部連絡道路の整備を促進し、市街地とのネットワークを形成する	行政 (国)	中期	地域整備課
	町道八相山線と国道287号とのアクセス道路を整備し市街地への誘導を形成する	行政 (町)	短期	地域整備課
市街地幹線の道路整備事業	市街地幹線である国道287号、県道椿川西線、県道川西小国線、県道口田沢川西線の道路整備を促進し、安全安心な交通環境を整備する（路面改良、歩道整備、排水・克雪対策等）	行政 (県)	短期・中期	地域整備課
	市街地町道の計画的な整備を推進するとともに、都市計画道路の具体的な整備計画の策定に向け調査研究を進める	行政 (町)	短期	地域整備課
歩行者にやさしい道路整備事業	歩道の設置・改良、バリアフリー化、消雪対策など、高齢者や子ども、回遊者にやさしい道路環境を整備する	行政 (国・県・町)	短期・中期	地域整備課

#### (2) 回遊者をつくりだすための整備

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
公共サイン整備事業	主要な施設や観光名所、地域の資源、文化財などを案内、誘導するサインの統一デザインを検討し、回遊や散策しやすい街並み景観を目指す	行政 (国・県・町)	短期	産業振興課 地域整備課
街なか散策路整備事業	街なかの資源を結ぶ散策路の設定やマップの作成、案内人の養成を進め、街なかの回遊性を促進する	団体	短期	産業振興課 まちづくり課
情報発信、案内所整備事業	主要な施設や商店、空き店舗等に町の情報や観光情報を発信する機能を設置する	協働 (町、団体)	短期	産業振興課 まちづくり課
観光交流受入体制整備事業	まちづくりや交流団体と連携した交流事業を推進し、国内外の交流に対応した情報案内機能の整備及び受け入れ体制の整備を図る	協働 (町、団体)	短期	産業振興課 まちづくり課

### (3) 交通対策

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
デマンド交通推進事業	デマンド型乗合交通システムの運用を充実し、市街地と周辺地域との交通利便性を高める	行政 (町)	短期	まちづくり課
東西交流アクセス機能整備事業	市街地の東西地域の交流を促進するため、駅南北の道路改善等のアクセス機能の改善整備を行う	行政 (国・県・町)	長期	地域整備課

### (4) 住宅整備

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
街なか居住・定住促進事業	住宅整備に対する補助、支援制度を充実し、居住しやすい環境づくりを推進する	行政 (町)	短期	地域整備課
	勤労者、子育て世代や高齢者向けの共同住宅の整備誘導を促進する	行政 (町)	中期	産業振興課 健康福祉課
	空き家バンクを活用し、住居情報の提供やリフォーム支援を創設し、居住しやすい環境づくりを推進する	行政 (町)	短期	まちづくり課 住民生活課

### (5) 公園・広場の整備

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
駅前広場整備事業	町の玄関、顔である羽前小松駅（西東）の景観整備、機能充実を図り、市街地の活力を増進する	協働 (町・団体)	短期	企画財政課 まちづくり課 地域整備課
子ども広場・公園整備事業	羽前小松駅東口やふれあいの丘周辺に子ども向けの公園、緑地機能を充実し、家族で過ごせる空間を整備する	行政 (町)	中期	企画財政課 地域整備課 産業振興課

### (6) 観光拠点の整備

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
ふれあいの丘整備事業	川西ダリヤ園の施設機能の充実を図り、観光・交流人口の拡大、ダリヤのまちづくりを推進する	行政 (町)	短期	企画財政課 産業振興課
	置賜公園（原田城址、ハーブガーデン）及び内山沢遊歩道の利活用に向け、活用情報の発信、施設機能の充実を図る	行政 (町)	中期	企画財政課 産業振興課



(7) 交流拠点の整備

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
ふれあいの丘整備事業	浴浴センターの温泉保養施設の機能の改善、充実を図り、利用者の拡大を図る	行政 (町)	中期	企画財政課 産業振興課
	パークゴルフ場を整備し、新たな交流人口の拡大を目指す	行政 (町)	短期	企画財政課 まちづくり課 地域整備課
であいの丘整備事業	駅東のフレンドリープラザ・遅筆堂文庫の機能充実を図るとともに、駅西のふれあいの丘との相互連携を強化し、市街地一体の活性化を推進する	行政 (町)	長期	企画財政課 まちづくり課

(8) 環境整備

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
美しいまちづくり事業	玄関、沿線へのプランター設置、ガーデニングづくりなど、住民主体の花と緑あふれるまちづくりを推進する	協働 (地域・事業者)	短期	まちづくり課
地域除雪推進事業	地域共同による除排雪への支援、一斉除排雪を実施し、安心安全な冬期交通の確保を図る	協働 (町・地域)	短期	地域整備課
消雪対策整備事業	市街地の除排雪環境の改善のため、消雪機能の整備充実を図る	行政 (国・県・町)	長期	地域整備課

(9) 歴史的建造物・景観の保存、保全

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
歴史的建造物の保存・活用事業	歴史的な建造物を保存するための支援制度を研究し、保存修復や利活用しやすい環境づくりを推進する	協働 (町・事業者)	中期	まちづくり課 産業振興課
建造物景観顕彰事業	歴史的文化的な建造物や町並み、景観を写真コンテストを開催し、景観に配慮したまちづくりを醸成する	行政 (町)	中期	まちづくり課 産業振興課
空き家・空き店舗対策事業	老朽化した空き家、空き店舗の解体、修復等への支援を検討し、景観の保全や防犯対策として空地の活用を推進する	行政 (町)	短期	まちづくり課 住民生活課 産業振興課

## 2 商業活性化のための事業

### (1) 商店街の整備

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
商店街景観形成事業	看板、のれん、フラッグなど、共通デザインを検討し、統一感のある商店街の景観形成を推進する	協働 (団体・事業者)	短期	産業振興課
街なか広場・駐車場整備事業	商店街に集い、イベント・休息・交流できる機能、広場、駐車スペースを整備し、地域住民や来町者の憩いの場づくりを推進する	協働 (町・団体)	短期	産業振興課
街なか市場整備事業	駅前広場や商店街で特産品や農産物を販売できる市場を整備し、街なかへの集客、賑わいづくりを推進する	協働 (団体・事業者)	短期	産業振興課

### (2) 空き店舗対策事業

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
コミュニティーショップ支援事業	空き店舗を活用した出店、販売に対して、リフォーム整備等の支援を行う	行政 (町)	中期	まちづくり課 住民生活課
空き店舗交流促進事業	空き店舗を活用した屋内遊び場、学習、講座、図書館、高齢者のサロンなど、多世代間の交流事業を推進する	協働 (町・団体)	短期	まちづくり課 健康福祉課 教育総務課

### (3) 顧客サービス向上事業

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
個店の魅力向上事業	個々の事業者が商品のブラッシュアップや新商品の開発に取り組み、魅力向上と集客力を高める	協働 (団体・事業者)	短期	産業振興課
商店街集客向上事業	商業団体や商店会が主体的に行う賑わいづくりや集客向上のための消費者との交流、イベント事業を支援する	協働 (町・団体)	短期	産業振興課
共通スタンプ推進事業	商業団体や商店会、個々の商店が連携して取り組むポイントサービス事業を展開する	団体	短期	産業振興課
高齢者買い物支援事業	商業団体や商店会が連携し、周辺地域への移動販売、周辺地域からの集客システム、宅配サービス、御用利きなどを研究し、高齢者の買い物環境の改善を図る	協働 (町・団体)	中期	産業振興課 健康福祉課

### (4) 商業の振興のための事業

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
人材育成事業	事業者や後継者の育成に資する学習、研修、交流、調査等の取り組みを推進する	協働 (町・団体・事業者)	短期	産業振興課
若者街づくり研究事業	若手事業者、地元高校や大学と連携した街づくりの企画提案、実践活動を支援する	協働 (町・団体・事業者・地域)	短期	産業振興課 まちづくり課

(5) 観光・イベント事業

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
いちおし逸品マップ作成事業	個々の商店のいちおし、逸品、特徴を集約した情報マップを作成し、観光施設等へ配置する	協働 (団体・事業者)	短期	産業振興課
定期市開催事業	観光イベントや地域の祭りに合わせ、消費者と商業者が交流できる場(市)の創出などの賑わいづくりを開催し、街なかへの集客を高める	協働 (団体・事業者)	短期	産業振興課
街なか散策・味めぐりツアー開催事業	観光資源、歴史・文化資源と食や味を組み合わせた街なか歩きのツアーコースを設定する	協働 (団体・事業者)	短期	産業振興課
四季のスタンプラリー開催事業	春の桜、夏のハーブ、秋のダリア、冬の雪を活用したスタンプラリーを開催する	協働 (団体・事業者)	短期	産業振興課

(6) 特産品開発、地産地消の推進事業

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
特産品開発事業	地域資源を活かした特産品の開発を行う	協働 (団体・事業者)	短期	産業振興課
地域食材活用推進事業	季節ごとに地域の食材、特産品を取り入れた共通メニューを研究し、PR・キャンペーンを展開する	協働 (団体・事業者)	短期	産業振興課

### 3 その他の事業

#### (1) 町民参加

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
協働のまちづくり推進事業	小松地区交流センター、商店会、まちづくり団体等が連携、協力し、地域主体のまちづくりを推進する	協働 (町・団体・地域)	短期	まちづくり課
夏まつり推進事業	町民参加型の夏まつりを充実し、まちづくりの一体感を醸成する	協働 (町・団体・地域)	短期	まちづくり課 産業振興課
自主防災体制整備事業	小松地区自主防災連合会を主体に地域単位の見守り体制の構築を推進する	協働 (町・団体・地域)	短期	総務課 健康福祉課

#### (2) 公共施設の整備改善

事業名	具体的な取組	実施主体	実施時期	備考
公共施設整備改善事業	役場庁舎をはじめ老朽化した公共施設の整備を研究し、各施設機能の効果的な発現を優先しつつ、複合化、コンパクト化を検討する。 設置場所については、中心市街地のまちづくりの視点から地域住民との十分な合意形成を行う	協働 (町・団体・事業者・地域)	短期	全課

## V 計画の推進と進行管理

### 1 計画推進のための役割分担

#### (1) 地域（町民）の役割

まちづくりは、そこに住む地域の人々の思いと行動が基本である。

高齢化や人口減少が進行する社会環境にあって、住みやすい地域にしていくためには、身近な課題を地域で共有し、相互扶助による地域共同の必要性を改めて確認し、再構築していくことが求められている。

こうした地域共同をもとに、地域での見守りや除排雪などの相互扶助意識の醸成、地域の伝統ある祭りや環境活動などへの参画意識を高め、地域全体で暮らしが持続できるまちづくりにしていくことが大切である。

また、市街地の賑わいづくりに積極的に参画し、様々な人々とのふれあいとおもてなしにより、交流が広がる取り組みを進めていくものとする。

#### (2) 事業者の役割

市街地の賑わいをつくりだすためには、人々が集まる仕掛け、取り組みが必要である。商業を主体とした事業者は、個々の素材の活かし方とサービスの向上、充実を高めるとともに、各事業者が共同連携し、組織的な実践、賑わいづくりが求められている。

このためには、個々の魅力と地域の様々な資源との組み合わせ、観光イベントやまちづくり、交流事業との連携など、機会を捉えた積極的な参画、取り組みを進めていく必要がある。

#### (3) 団体、組織の役割

本町では、まちづくり基本条例に基づいて、協働のまちづくりを推進している。

本計画における市街地の課題、まちづくりの方向性について、行政はもとより商工団体や交流センター、まちづくり団体、各種団体、地域住民が情報を共有し、それぞれの役割に即して共に行動していくことが大切である。

特に、行動を実践していくための先導的なリーダーや人材の育成を図り、団体や組織をけん引し、連携や仲間づくりが広がる取り組みが必要である。

#### (4) 行政の役割

本計画の推進にあたっては、地域や事業者、関係団体の主体的なまちづくりを支援していくとともに、相互の連携を促進していくものとする。

市内においては、産業振興課を主管としつつ、個別施策の実行に向けて担当所管課を中心に、関係各課との連携調整を図りながら進めていくものとする。

また、道路等の施設整備にあたっては、国や県、関係する市町など所管する関係機関への要望を強化するとともに、有利な制度の活用など財源の確保を図りながら、事業の実現に努めるものとする。

なお、本計画の施策の方向性については、平成28年からスタートする第5次川西町総合計画への反映を行い、整合性を図るものとする。

## 2 計画の進行管理

本計画を推進していくためには、町民、事業者、団体・組織、行政がそれぞれの役割を確認し、互いに連携、協力しながら施策を展開していくことが大切である。

そのためにも、事業の進捗や成果、財政や年次的な課題などに応じた施策の見直しや改善を行い、計画の実効性と有効性を高めていくことが必要であることから、PDCAサイクルにより進行管理を図っていくものとする。

## VI 資料編

### 1 川西町中心市街地活性化検討委員会

#### (1) 設置要綱

#### 川西町中心市街地活性化検討委員会設置要綱

(平成 26 年 2 月 25 日告示第 12-1 号)

#### (設置)

第 1 条 地域住民との協働による中心市街地の活性化を推進するため、川西町中心市街地活性化検討委員会(以下「委員会」という。)を置く。

#### (役割)

第 2 条 委員会の役割は、次のとおりとする。

- (1) 中心市街地の活性化に関する委員相互の意見及び情報交換
- (2) 中心市街地の活性化に関する研修及び調査研究
- (3) 中心市街地の活性化に関する施策の検討
- (4) その他町長が特に必要と認める事項

#### (組織)

第 3 条 委員会は、委員 20 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 中心市街地の地域住民を代表する
- (2) 地域づくり、まちづくり、観光振興に携わる者
- (3) 産業振興に携わる者
- (4) 教育、福祉に携わる者
- (5) 識見を有する者

#### (委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、町長が指名する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指定する委員が、その職務を代理する。

#### (委員の任期)

第 5 条 委員の任期は平成 27 年 3 月 31 日までとする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、委員会の議長となる。

3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 委員会は、所掌事務に関し、必要に応じ関係者等から意見等を聞くことができる。

(部会)

第7条 委員会にまちづくり部会及び都市整備部会を設置する。

2 まちづくり部会は、主として中心市街地における地域づくり及び商店街の活性化、賑わいづくり等に関する事項を所掌する。

3 都市整備部会は、主として中心市街地における都市機能のあり方及び生活環境の整備、景観等に関する事項を所掌する。

4 委員の所属部会は、町長が定める。

5 部会に部会長を置き、部会所属委員の互選によりこれを定める。

6 部会は、部会長が招集し、部会長は部会の議長となる。

7 部会は、所掌事務に関し、必要に応じ関係者等から意見等を聞くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、産業振興課において処理する。

(その他)

第9条 この条例に定めるもののほか委員会の運営に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この要綱は、告示の日から施行する。



## (2) 委員名簿

	団体・組織	氏名	区分	部会	備考
1	北区自治会長会	平山利郎	1号委員	まちづくり	
2	中区自治会長会	鈴木正男		都市整備	
3	西区自治会長会	神村建二		まちづくり	
4	南区自治会長会	大河原孝一		都市整備	
5	小松地区地域振興協議会	遠藤明子	2号委員	まちづくり	
6	川西町観光協会	本間芳弘		都市整備	
7	えき・まちネットこまつ	江本一男		まちづくり	
8	川西町商工会（工業部）	藤島英一	3号委員	都市整備	委員長
9	川西町商工会（商業部）	渡部秀一		まちづくり	部会長
10	川西町商工会（青年部）	小関脩太郎		都市整備	
11	川西町商工会（女性部）	高橋冷子		まちづくり	
12	五日町商店会	安部康幸		都市整備	部会長
13	表参道商店会	金子義市		まちづくり	委員長代理
14	川西町立小松小学校	金子正美	4号委員	都市整備	
15	山形県立置賜農業高等学校	佐藤広行		まちづくり	
16	川西町福祉協議会	小関秀子		都市整備	

## 【事務局】

	所属・職名	氏名	区分	部会	備考
1	産業振興課長	鈴木清隆 (山口俊昭)	事務局長		
2	産業振興課商工観光主幹	奥村正隆	事務局次長	まちづくり	
3	企画財政課政策調整主幹	滝田浩一	事務局員	都市整備	
4	まちづくり課地域づくり推進室長	高橋光好		まちづくり	
5	地域整備課建設管理主幹 (都市計画主査)	奥村邦彦 (佐藤賢一)		都市整備	
6	産業振興課商工労政主査	安部博之			
7	産業振興課主事	高橋和久		まちづくり	

※（ ）の者は、人事異動による担当の変更

### (3) 会議経過

日程	会議名	会議内容
H26年 2月5日	第1回事務局会 (庁内関係課打ち合わせ会)	中心市街地の計画策定の進め方 検討委員会委員の方針について
H26年 3月6日	第2回事務局会	中心市街地活性化検討委員会の進め方 について
H26年 3月14日	第1回 中心市街地活性化検討委員会	中心市街地活性化検討委員の委嘱 役員の選任、部会の設置について
H26年 4月15日	第3回事務局会	部会資料の検討、確認 部会の進め方について
H26年 4月16日	第1回まちづくり部会	統計資料による現状、動向について 前計画の事業の検証について
H26年 4月22日	第1回都市整備部会	統計資料による現状、動向について 前計画の事業の検証について
H26年 5月29日	第2回まちづくり部会	前計画の事業の検証について
H26年 6月23日	第4回事務局会	前計画の事業評価書のまとめ
H26年 6月30日	第2回 中心市街地活性化検討委員会	前計画における事業の評価 新たな計画づくりの進め方について
H26年 12月3日	検討委員会役員会	新たな計画書のイメージ、部会の進め方 について
H27年 1月20日	第5回事務局会	事業計画・アクションプランの検討
H27年 1月23日	第3回まちづくり部会	まちづくりアンケートによる計画の視点 アクションプランの検討について
H27年 1月29日	第2回都市整備部会	まちづくりアンケートによる計画の視点 アクションプランの検討について
H27年 2月5日	第4回まちづくり部会	アクションプランの検討について
H27年 2月10日	第3回都市整備部会	アクションプランの検討について
H27年 2月23日	第4回都市整備部会	アクションプランの検討について
H27年 2月26日	第5回まちづくり部会	アクションプランの検討について
H27年 3月27日	第3回 中心市街地活性化検討委員会	川西町中心市街地活性化基本計画 アクションプランの策定について

## 2 まちづくりアンケート資料（抜粋）

### （1）調査の概要

#### ① 調査の目的

第5次総合計画の策定にあたり、今後のまちづくりに関するアンケート調査を行った。町民各層の意識について把握するとともに、町の課題や町民ニーズ等について抽出し、計画に反映させるため実施した。

#### ② 調査の方法

調査票配布：郵送配布

調査票回収：郵送回収

調査期間：平成26年9月19日～平成26年10月6日

#### ③ 調査対象

平成26年9月1日現在の住民基本台帳登録者のうち、20歳から80歳までの方を対象とし、年代、性別、地区を考慮して2,000名を無作為に抽出し、848名（42.4%）の方から回答があった。

#### ④ 報告書の見方

調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。

- ・複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超えている。
- ・選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いている。

(2) アンケート集計・分析結果 (抜粋)

問2 川西町に住んでいて、「住みにくい」と思うところはどんなところですか。(2つに〇)

回 答	回答人数	回答率
1.教育環境が整っていない	28	3.3%
2.保健医療福祉体制が整っていない	50	6.0%
3.高齢者福祉環境が整っていない	72	8.6%
4.自然環境が厳しい(雪が多い)	365	43.5%
5.就労の場が少ない	409	48.7%
6.近所づき合いなど人間関係が難しい	57	6.8%
7.防犯、防災体制が整っていない	11	1.3%
8.通勤・通学が不便である	205	24.4%
9.買い物がしにくい	181	21.5%
10.子育てがしにくい	32	3.8%
11.スポーツ・文化施設が整っていない	56	6.7%
12.その他	32	3.8%
13.特になし	36	4.3%

約半数が「5.就労の場が少ない」を、「4.自然環境が厳しい(雪が多い)」の回答率も4割を超えており、以上の2項目が、人口流出の抑制及び定住化を推進するための大きな課題であることは、明らかである。

続いて、「通勤・通学が不便」、「買い物がしにくい」の順で、いずれも2割以上の回答率となった。

【地区別集計】

	1教育	2医療	3福祉	4自然	5就労	6人間	7災害	8交通	9買物	10子育て	11文化	12その他	13特になし	14無回答
小 松	1.9%	5.8%	8.1%	49.6%	51.2%	7.8%	1.6%	14.0%	15.5%	4.3%	10.9%	4.3%	3.9%	1.6%
大 塚	3.4%	2.5%	7.6%	38.7%	43.7%	7.6%	1.7%	22.7%	37.0%	4.2%	5.9%	4.2%	4.2%	1.7%
犬 川	6.1%	3.1%	13.3%	38.8%	61.2%	7.1%	2.0%	19.4%	12.2%	6.1%	5.1%	3.1%	4.1%	3.1%
中 郡	3.2%	8.9%	7.0%	46.5%	36.9%	6.4%	1.3%	22.3%	22.3%	3.2%	3.2%	3.8%	8.3%	1.3%
玉 庭	0.0%	5.6%	5.6%	46.3%	46.3%	1.9%	1.9%	42.6%	24.1%	5.6%	0.0%	3.7%	3.7%	0.0%
東 沢	8.1%	5.4%	2.7%	48.6%	51.4%	5.4%	0.0%	37.8%	21.6%	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%
吉 島	4.1%	8.1%	11.4%	29.3%	52.0%	5.7%	0.0%	40.7%	23.6%	1.6%	8.1%	2.4%	1.6%	0.0%

	1	2	3	4	5
小 松	5.就労 (51.2%)	4.自然 (49.6%)	9.買物 (15.5%)	8.交通 (14.0%)	11.文化・スポーツ (10.9%)
大 塚	5.就労 (43.7%)	4.自然 (38.7%)	9.買物 (37.0%)	8.交通 (22.7%)	3.福祉・6.人間関係(7.6%)
犬 川	5.就労 (61.2%)	4.自然 (38.8%)	8.交通 (19.4%)	3.福祉 (13.3%)	9.買物 (12.2%)
中 郡	4.自然 (46.5%)	5.就労 (36.9%)	8.交通・9.買物 (22.3%)		2.医療 (8.9%)
玉 庭	4.自然・5.就労 (46.3%)		8.交通 (42.6%)	9.買物 (24.1%)	2.医療・3.福祉・10.子育て(5.6%)
東 沢	5.就労 (51.4%)	4.自然 (48.6%)	8.交通 (37.8%)	9.買物 (21.6%)	1.教育 (8.1%)
吉 島	5.就労 (52.0%)	8.交通 (40.7%)	4.自然 (29.3%)	9.買物 (23.6%)	3.福祉 (11.4%)

【年代別集計】

	1教育	2医療	3福祉	4自然	5就労	6人間	7災害	8交通	9買物	10子育て	11文化	12その他	13特になし	14無回答
20代	5.3%	2.7%	4.0%	49.3%	40.0%	8.0%	1.3%	24.0%	29.3%	1.3%	5.3%	4.0%	1.3%	4.0%
30代	4.8%	4.8%	4.8%	32.3%	39.5%	8.1%	1.6%	20.2%	31.5%	12.9%	10.5%	4.8%	4.8%	0.0%
40代	5.8%	10.8%	5.8%	33.8%	53.2%	5.0%	1.4%	30.2%	23.7%	3.6%	7.2%	2.9%	2.2%	0.7%
50代	2.2%	6.0%	9.9%	45.1%	55.5%	5.5%	0.5%	31.3%	13.7%	3.3%	3.3%	5.5%	3.8%	0.5%
60代	2.4%	5.5%	8.5%	42.7%	51.2%	6.7%	1.2%	20.7%	15.9%	1.8%	7.9%	4.3%	5.5%	3.0%
70代	1.2%	3.7%	14.1%	54.0%	43.6%	8.0%	1.8%	17.8%	22.1%	0.6%	5.5%	1.2%	6.1%	0.6%

	1	2	3	4	5
20代	4.自然 (49.3%)	5.就労 (40.0%)	9.買物 (29.3%)	8.交通 (24.0%)	6.人間関係 (8.0%)
30代	5.就労 (39.5%)	4.自然 (32.3%)	9.買物 (31.5%)	8.交通 (20.2%)	10.子育て (12.9%)
40代	5.就労 (53.2%)	4.自然 (33.8%)	8.交通 (30.2%)	9.買物 (23.7%)	2.医療 (10.8%)
50代	5.就労 (55.5%)	4.自然 (45.1%)	8.交通 (31.3%)	9.買物 (13.7%)	2.医療 (6.0%)
60代	5.就労 (51.2%)	4.自然 (42.7%)	8.交通 (20.7%)	9.買物 (15.9%)	3.福祉 (8.5%)
70代	4.自然 (54.0%)	5.就労 (43.6%)	9.買物 (22.1%)	8.交通 (17.8%)	3.福祉 (14.1%)

【性別集計表】

	1教育	2医療	3福祉	4自然	5就労	6人間	7災害	8交通	9買物	10子育て	11文化	12その他	13特になし	14無回答
男性	2.7%	7.5%	10.2%	40.9%	53.1%	6.7%	1.7%	22.7%	18.2%	2.0%	6.7%	4.0%	4.2%	0.7%
女性	3.8%	4.5%	7.0%	44.7%	43.8%	6.7%	0.9%	25.6%	24.3%	5.4%	6.3%	3.6%	4.3%	1.8%

	1	2	3	4	5
男性	5.就労 (53.1%)	4.自然 (40.9%)	8.交通 (22.7%)	9.買物 (18.2%)	3.福祉 (10.2%)
女性	4.自然 (44.7%)	5.就労 (43.8%)	8.交通 (25.6%)	9.買物 (24.3%)	3.福祉 (7.0%)

特筆すべき事項

【地区別】

- ・「4.自然環境が厳しい（雪が多い）」は、当然、雪の多い地区において、より回答率が高くなっているが、小松地区については、回答率が2位ながら、約50%の方が回答しており、全地区の中でも一番高い割合になっている。
- ・「8.通勤・通学が不便である」は、玉庭、東沢、吉島各地区における回答率が他の地区よりも高くなっており、それぞれ40%前後となっている。この3地区に共通していることは、駅がないことで、高校への通学時の不便さが反映されたものであると推測できる。

【年代別】

- ・「9.買い物がしにくい」は、20・30代の若年層と70代の高齢層で高い回答率になった。特に高齢層については、地元の商店の閉店等により買い物が困難になっている高齢者の方が増えてきている状況があるものと考えられる。

問3 今後のまちづくりにおいて、特に力を入れていくべきことは何だと思えますか。(2つに〇)

回 答	回答人数	回答率
1.防災・防犯体制の充実	27	3.2%
2.生活基盤の整備	84	10.0%
3.産業の振興（町民所得の向上）	227	27.0%
4.雇用の確保	223	26.5%
5.自然環境の保全	27	3.2%
6.子育て環境の充実	105	12.5%
7.保健・医療環境の充実	54	6.4%
8.高齢者・障がい者福祉の充実	119	14.2%
9.学校教育、生涯学習環境の充実	38	4.5%
10.人口流出の抑制（定住の促進）	220	26.2%
11.賑いのあるまちづくりの推進	132	15.7%
12.協働のまちづくりの推進	41	4.9%
13.地域公共交通の充実	110	13.1%
14.「克雪」「利雪」の取組みや除排雪体制の充実	197	23.5%
15.その他	12	1.4%

「3.産業の振興」、「4.雇用の確保」、「10.人口流出の抑制」がほぼ同じ回答率で高くなっていることから、この3つが喫緊の課題であり、力を入れていくべきことであるという方向性については、町民と行政で大きな考え方の相違がないことが確認できる。

以下、「14.除排雪体制の充実」、「8.高齢者・障がい者福祉の充実」、「11.賑いのあるまちづくりの推進」、「13.地域公共交通の充実」、「6.子育て環境の充実」の順となっている。

【地区別集計】

	1 防災	2 生活基盤	3 産業振興	4 雇用確保	5 環境保全	6 子育て	7 保健医療	8 交通	9 教育	10 定住促進	11 賑わい	12 協働	13 公共交通	14 雪対策	15 その他	16 無回答
小 松	2.7%	8.9%	25.2%	22.1%	1.6%	10.5%	8.5%	15.5%	2.7%	27.1%	16.7%	4.7%	10.5%	32.6%	2.3%	1.6%
大 塚	5.9%	8.4%	26.9%	24.4%	6.7%	12.6%	2.5%	19.3%	6.7%	21.0%	17.6%	5.0%	15.1%	16.8%	0.0%	2.5%
犬 川	4.1%	16.3%	35.7%	29.6%	2.0%	16.3%	5.1%	7.1%	6.1%	27.6%	14.3%	4.1%	7.1%	14.3%	4.1%	2.0%
中 郡	3.2%	7.6%	23.6%	25.5%	1.9%	17.2%	7.6%	16.6%	3.8%	26.8%	15.9%	5.1%	13.4%	20.4%	0.6%	1.9%
玉 庭	1.9%	9.3%	24.1%	37.0%	3.7%	9.3%	5.6%	9.3%	9.3%	25.9%	11.1%	1.9%	22.2%	22.2%	3.7%	0.0%
東 沢	0.0%	10.8%	35.1%	29.7%	8.1%	5.4%	2.7%	2.7%	8.1%	29.7%	16.2%	2.7%	18.9%	21.6%	0.0%	2.7%
吉 島	2.4%	11.4%	26.8%	30.9%	4.1%	10.6%	6.5%	13.8%	1.6%	25.2%	13.8%	7.3%	13.8%	19.5%	1.6%	1.6%

	1	2	3	4	5
小 松	14.雪対策 (32.6%)	10.定住促進 (27.1%)	3.産業振興 (25.2%)	4.雇用確保 (22.1%)	11.賑わい (16.7%)
大 塚	3.産業振興 (26.9%)	4.雇用確保 (24.4%)	10.定住促進 (21.0%)	8.交通 (19.3%)	11.賑わい (17.6%)
犬 川	3.産業振興 (35.7%)	4.雇用確保 (29.6%)	10.定住促進 (27.6%)	2.生活基盤整備・6.子育て (16.3%)	
中 郡	10.定住促進 (26.8%)	4.雇用確保 (25.5%)	3.産業振興 (23.6%)	14.雪対策 (20.4%)	6.子育て (17.2%)
玉 庭	4.雇用確保 (37.0%)	10.定住促進 (25.9%)	3.産業振興 (24.1%)	13.公共交通・14.雪対策(22.2%)	
東 沢	3.産業振興 (35.1%)	4.雇用確保・10.定住促進 (29.7%)		14.雪対策 (21.6%)	13.公共交通 (18.9%)
吉 島	4.雇用確保 (30.9%)	3.産業振興 (26.8%)	10.定住促進 (25.2%)	14.雪対策 (19.5%)	8.交通・13.公共交通(13.8%)

【年代別集計】

	1 防災	2 生活基盤	3 産業振興	4 雇用確保	5 環境保全	6 子育て	7 保健医療	8 福祉	9 教育	10 定住促進	11 賑わい	12 協働	13 公共交通	14 雪対策	15 その他	16 無回答
20代	2.7%	5.3%	18.7%	28.0%	4.0%	16.0%	10.7%	13.3%	5.3%	24.0%	24.0%	0.0%	9.3%	32.0%	1.3%	1.3%
30代	3.2%	11.3%	21.0%	20.2%	4.0%	37.9%	4.8%	5.6%	9.7%	22.6%	20.2%	2.4%	8.1%	21.8%	1.6%	0.0%
40代	6.5%	9.4%	28.1%	27.3%	0.7%	18.0%	6.5%	13.7%	7.2%	18.7%	14.4%	4.3%	18.0%	20.1%	2.2%	0.7%
50代	1.1%	9.3%	32.4%	32.4%	2.2%	7.1%	6.6%	12.6%	3.3%	29.1%	14.3%	2.2%	9.3%	25.8%	1.6%	1.1%
60代	1.8%	11.6%	26.8%	26.2%	4.9%	3.7%	7.9%	15.2%	2.4%	24.4%	17.1%	6.7%	11.0%	21.3%	1.2%	4.3%
70代	4.3%	10.4%	27.6%	22.7%	3.7%	0.6%	3.7%	21.5%	0.6%	33.7%	9.2%	10.4%	20.2%	22.1%	0.6%	2.5%

	1	2	3	4	5
20代	14.雪対策 (32.0%)	4.雇用確保 (28.0%)	10.定住促進・11.賑わい (24.0%)		3.産業振興 (18.7%)
30代	6.子育て (37.9%)	10.定住促進 (22.6%)	14.雪対策 (21.8%)	3.産業振興 (21.0%)	4.雇用確保 (20.2%)
40代	3.産業振興 (28.1%)	4.雇用確保 (27.3%)	14.雪対策 (20.1%)	10.定住促進 (18.7%)	13.公共交通 (18.0%)
50代	3.産業振興・4.雇用創出 (32.4%)		10.定住促進 (29.1%)	14.雪対策 (25.8%)	11.賑わい (14.3%)
60代	3.産業振興 (26.8%)	4.雇用確保 (26.2%)	10.定住促進 (24.4%)	14.雪対策 (21.3%)	11.賑わい (17.1%)
70代	10.定住促進 (33.7%)	3.産業振興 (27.6%)	4.雇用確保 (22.7%)	14.雪対策 (22.1%)	8.福祉 (21.5%)

【男女別集計表】

	1 防災	2 生活基盤	3 産業振興	4 雇用確保	5 環境保全	6 子育て	7 保健医療	8 福祉	9 教育	10 定住促進	11 賑わい	12 協働	13 公共交通	14 雪対策	15 その他	16 無回答
男性	2.5%	12.0%	33.7%	25.9%	2.0%	9.5%	5.5%	15.0%	4.5%	28.7%	13.0%	6.0%	11.7%	23.4%	2.2%	0.5%
女性	3.8%	8.1%	20.7%	26.5%	4.3%	1.3%	7.2%	13.3%	4.3%	23.4%	18.0%	3.8%	14.2%	23.1%	0.7%	2.9%

	1	2	3	4	5
男性	3.産業振興 (33.7%)	10.定住促進 (28.7%)	4.雇用確保 (25.9%)	14.雪対策 (23.4%)	8.福祉 (15.0%)
女性	4.雇用確保 (26.5%)	10.定住促進 (23.4%)	14.雪対策 (23.1%)	3.産業振興 (20.7%)	11.賑わい (18.0%)

特筆すべき事項

【地区別】

- ・「14.除排雪体制の充実」の回答率が、山間部の地区よりも小松地区の方が高い結果となった。また、回答率の順位で見ると、小松地区のみ1位となっており、その他の地区は4位以下となっている。山間部のみならず、市街地、住宅地における雪対策についても、今後、効果的な対策を講じていく必要がある。
- ・「6.子育て環境の充実」も、30代のみで回答率順位1位となっており、若い年代（子育て世代）の定住化を図るためには、子育て環境の充実が不可欠である。

問4 今後、どのようなまちを目指していくことがよりよいと思いますか。(2つに〇)

回 答	回答人数	回答率
1.産業を盛んにし、働く場所がたくさんあるまち	473	56.3%
2.豊かな自然を大切にできる環境にやさしいまち	118	14.0%
3.子どもから高齢者までスポーツや芸術に気軽に触れられるまち	71	8.5%
4.みんなが健康で元気に暮らせるまち	215	25.6%
5.高齢者や障がいをもつ方、子どもを大切にできるまち	126	15.0%
6.犯罪が少なく、災害に強い安全で安心なまち	151	18.0%
7.豊かな心と健やかな身体を育む学校教育や生涯学習が行われるまち	105	12.5%
8.若者が集い、にぎわいと活気のあるまち	304	36.2%
9.地区単位での自主的な地域づくり活動が活発に行われるまち	38	4.5%
10.その他	15	1.8%

50%を超える方が「1.産業を盛んにし、働く場所がたくさんあるまち」を選択しており、「産業の振興」、「雇用の促進」を中心にしたまちづくりが求められている。

以下、「8.にぎわいと活気のあるまち」、「4.健康で元気に暮らせるまち」の順となっている。

【地区別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答
小 松	56.2%	14.7%	7.0%	22.1%	17.1%	14.3%	9.7%	40.7%	6.2%	1.2%	1.2%
大 塚	58.0%	15.1%	8.4%	23.5%	13.4%	21.8%	12.6%	32.8%	3.4%	2.5%	1.7%
犬 川	59.2%	13.3%	10.2%	27.6%	13.3%	24.5%	12.2%	27.6%	3.1%	1.0%	0.0%
中 郡	43.9%	12.1%	9.6%	31.2%	14.0%	21.7%	13.4%	36.3%	2.5%	1.9%	2.5%
玉 庭	50.0%	14.8%	5.6%	24.1%	14.8%	18.5%	25.9%	33.3%	7.4%	1.9%	0.0%
東 沢	75.7%	16.2%	8.1%	18.9%	5.4%	8.1%	8.1%	45.9%	0.0%	2.7%	0.0%
吉 島	61.8%	13.0%	9.8%	26.0%	16.3%	13.8%	11.4%	32.5%	5.7%	2.4%	0.0%

	1	2	3	4	5
小 松	1.産業が盛んなまち(56.2%)	8.活気あふれるまち(40.7%)	4.元気に暮らせるまち(22.1%)	5.高齢者や子どもを大切にできるまち(17.1%)	2.環境にやさしいまち(14.7%)
大 塚	1.産業が盛んなまち(58.0%)	8.活気あふれるまち(32.8%)	4.元気に暮らせるまち(23.5%)	6.安全で安心なまち(21.8%)	2.環境にやさしいまち(15.1%)
犬 川	1.産業が盛んなまち(59.2%)	4.元気に暮らせるまち・8.活気あふれるまち(27.6%)		6.安全で安心なまち(24.5%)	2.環境にやさしいまち(13.3%) 5.高齢者や子どもを大切にできるまち
中 郡	1.産業が盛んなまち(43.9%)	8.活気あふれるまち(36.3%)	4.元気に暮らせるまち(31.2%)	6.安全で安心なまち(21.7%)	5.高齢者や子どもを大切にできるまち(14.0%)
玉 庭	1.産業が盛んなまち(50.0%)	8.活気あふれるまち(33.3%)	7.豊かな心を育む教育のまち(25.9%)	4.元気に暮らせるまち(24.1%)	6.安全で安心なまち(18.5%)
東 沢	1.産業が盛んなまち(75.7%)	8.活気あふれるまち(45.9%)	4.元気に暮らせるまち(18.9%)	2.環境にやさしいまち(16.2%)	3.スポーツや文化の盛んなまち 6.安全で安心なまち 7.豊かな心を育む教育のまち(8.1%)
吉 島	1.産業が盛んなまち(61.8%)	8.活気あふれるまち(32.5%)	4.元気に暮らせるまち(26.0%)	5.高齢者や子どもを大切にできるまち(16.3%)	6.安全で安心なまち(13.8%)



【年代別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答
20代	44.0%	22.7%	9.3%	28.0%	12.0%	12.0%	10.7%	44.0%	6.7%	1.3%	1.3%
30代	45.2%	14.5%	8.1%	18.5%	16.1%	16.9%	25.8%	40.3%	4.0%	5.6%	0.0%
40代	52.5%	8.6%	13.7%	22.3%	17.3%	20.9%	16.5%	31.7%	5.0%	2.2%	0.7%
50代	61.0%	14.3%	6.6%	23.6%	17.6%	15.4%	8.8%	36.3%	2.2%	1.1%	1.1%
60代	57.3%	15.9%	9.1%	25.0%	11.0%	23.2%	9.8%	30.5%	4.9%	1.2%	2.4%
70代	65.0%	11.7%	4.9%	34.4%	13.5%	16.0%	6.1%	36.8%	5.5%	0.0%	0.6%

	1	2	3	4	5
20代	1.産業が盛んなまち・8.活気あふれるまち(44.0%)		4.元気に暮らせるまち(28.0%)	2.環境にやさしいまち(22.7%)	5.高齢者や子どもを大切にす 6.安全で安心なまち(12.0%)
30代	1.産業を盛んなまち(45.2%)	8.活気あふれるまち(40.3%)	7.豊かな心を育む教育のあるまち(25.8%)	4.元気に暮らせるまち(18.5%)	6.安全で安心なまち(16.9%)
40代	1.産業を盛んなまち(52.5%)	8.活気あふれるまち(31.7%)	4.元気に暮らせるまち(22.3%)	6.安全で安心なまち(20.9%)	5.高齢者や子どもを 大切にすまち(17.3%)
50代	1.産業を盛んなまち(61.0%)	8.活気あふれるまち(36.3%)	4.元気に暮らせるまち(23.6%)	5.高齢者や子どもを 大切にすまち(17.6%)	6.安全で安心なまち(15.4%)
60代	1.産業を盛んなまち(57.3%)	8.活気あふれるまち(30.5%)	4.元気に暮らせるまち(25.0%)	6.安全で安心なまち(23.2%)	2.環境にやさしいまち(15.9%)
70代	1.産業を盛んなまち(65.0%)	8.活気あふれるまち(36.8%)	4.元気に暮らせるまち(34.4%)	6.安全で安心なまち(16.0%)	5.高齢者や子どもを 大切にすまち(13.5%)

【男女別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答
男性	59.6%	14.5%	7.5%	23.2%	13.5%	16.7%	11.0%	38.7%	5.7%	2.0%	0.2%
女性	52.4%	13.5%	9.2%	27.2%	16.0%	18.9%	13.7%	33.3%	3.4%	1.6%	1.8%

	1	2	3	4	5	
男性	1.産業を盛んなまち(59.6%)		8.活気あふれるまち(38.7%)	4.元気に暮らせるまち(23.2%)	6.安全で安心なまち(16.7%)	2.環境にやさしいまち(14.5%)
女性	1.産業を盛んなまち(52.4%)		8.活気あふれるまち(33.3%)	4.元気に暮らせるまち(27.2%)	6.安全で安心なまち(18.9%)	5.高齢者や子どもを 大切にすまち(16.0%)

自由意見

- ・町の面積が広すぎて、地域に分散されているので、重点的に公共費を充てる事ができにくくなっていると思う。地域の反対はあるかもしれないが、プランに基づいた集中したまちづくりが必要だと思う。(40代・男性)
- ・近隣市町のHUB(ハブ)となる様な、まちづくりを期待する。(50代・男性)
- ・新しいものを追い求めるだけでなく、「今あるもの」や「今良いと思うもの」を「どうPRするか」、「どうより良くしていくか」にも力をいれてまちづくりを行っていただければと思う。(30代・女性)
- ・全国的に過疎化が進む現状で、人口を増やす方法を考えるのは非常に難しいと思う。それよりは、今ここに住む人が充実した生活を営む事を考える方が現実的ある。老若男女を問わず、時間と能力を持ちながら、それを発揮する機会がない人がいると思う。そのような人々を発掘し、生かしていくことができれば良いと思う。そうすれば、日々、生き活きとした生活を送れ、結果として、外から来て住んでみたいまちになると思う。(40代・男性)
- ・かわにし夏まつりのように、子どもから年輩の方まで楽しむ事ができる企画は大切だと思う。今後もさらに充実させてほしいと思う。(30代・女性)

問5 川西町で自慢できるものは何だと思われますか。(2つに〇)

回 答	回答人数	回答率
1.ダリヤ園	581	69.2%
2.田園風景・豊かな自然	263	31.3%
3.地酒(酒蔵)	99	11.8%
4.和牛	78	9.3%
5.和・洋菓子	49	5.8%
6.紅大豆	36	4.3%
7.掬粋巧芸館	11	1.3%
8.下小松古墳群などの文化財	39	4.6%
9.フレンドリープラザ・遅筆堂文庫	259	30.8%
10.特になし	60	7.1%
11.その他	16	1.9%

「1.ダリヤ園」が70%近い回答率だった。やはり、現在もダリヤ園が、町のシンボリックな存在であると言える。

以下、「2.田園風景・豊かな自然」、「9.フレンドリープラザ・遅筆堂文庫」が高い回答率で続く。

【地区別集計】

	1ダリヤ園	2自然	3地酒	4和牛	5菓子	6紅大豆	7巧芸館	8文化財	9プラザ	10特になし	11その他	無回答
小 松	71.3%	22.9%	15.9%	10.9%	8.9%	1.9%	0.4%	4.7%	31.0%	8.9%	3.1%	0.4%
大 塚	67.2%	32.8%	13.4%	8.4%	5.0%	3.4%	0.8%	3.4%	36.1%	3.4%	0.8%	1.7%
犬 川	66.3%	31.6%	10.2%	10.2%	2.0%	1.0%	2.0%	14.3%	24.5%	9.2%	3.1%	1.0%
中 郡	69.4%	33.1%	8.9%	3.8%	3.8%	5.7%	0.6%	3.2%	38.2%	4.5%	1.9%	1.9%
玉 庭	64.8%	42.6%	1.9%	14.8%	9.3%	5.6%	5.6%	3.7%	20.4%	11.1%	0.0%	0.0%
東 沢	73.0%	43.2%	10.8%	8.1%	5.4%	2.7%	2.7%	0.0%	32.4%	2.7%	0.0%	2.7%
吉 島	65.9%	34.1%	10.6%	10.6%	4.1%	10.6%	0.8%	1.6%	23.6%	7.3%	0.8%	0.0%

	1	2	3	4	5
小 松	1.ダリヤ園(71.3%)	9.フレンドリープラザ(31.0%)	2.豊かな自然(22.9%)	3.地酒(15.9%)	4.和牛(10.9%)
大 塚	1.ダリヤ園(67.2%)	9.フレンドリープラザ(36.1%)	2.豊かな自然(32.8%)	3.地酒(13.4%)	4.和牛(8.4%)
犬 川	1.ダリヤ園(66.3%)	2.豊かな自然(31.6%)	9.フレンドリープラザ(24.5%)	8.文化財(14.3%)	3.地酒・4.和牛(10.2%)
中 郡	1.ダリヤ園(69.4%)	9.フレンドリープラザ(38.2%)	2.豊かな自然(33.1%)	3.地酒(8.9%)	6.紅大豆(5.7%)
玉 庭	1.ダリヤ園(64.8%)	2.豊かな自然(42.6%)	9.フレンドリープラザ(20.4%)	4.和牛(14.8%)	10.特になし(11.1%)
東 沢	1.ダリヤ園(73.0%)	2.豊かな自然(43.2%)	9.フレンドリープラザ(32.4%)	3.地酒(10.8%)	4.和牛(8.1%)
吉 島	1.ダリヤ園(65.9%)	2.豊かな自然(34.1%)	9.フレンドリープラザ(23.6%)	3.地酒・4.和牛・6.紅大豆(10.6%)	

【年代別集計】

	1ダリヤ園	2自然	3地酒	4和牛	5菓子	6紅大豆	7巧芸館	8文化財	9プラザ	10特になし	11その他	無回答
20代	58.7%	37.3%	10.7%	10.7%	9.3%	5.3%	1.3%	2.7%	32.0%	8.0%	1.3%	0.0%
30代	60.5%	21.8%	18.5%	11.3%	6.5%	4.0%	0.0%	7.3%	30.6%	6.5%	2.4%	0.8%
40代	60.4%	30.2%	12.2%	8.6%	6.5%	6.5%	1.4%	5.0%	35.3%	8.6%	1.4%	0.0%
50代	68.1%	32.4%	12.1%	10.4%	6.6%	2.7%	0.5%	1.6%	27.5%	9.9%	3.8%	1.6%
60代	76.8%	32.9%	7.3%	7.9%	5.5%	3.0%	3.0%	6.7%	32.9%	3.7%	1.2%	0.0%
70代	77.9%	32.5%	10.4%	7.4%	2.5%	4.9%	1.2%	4.3%	26.4%	6.1%	0.6%	2.5%

	1	2	3	4	5
20代	1.ダリヤ園(58.7%)	2.豊かな自然(37.3%)	9.フレンドリープラザ(32.0%)	3.地酒・4和牛(10.7%)	
30代	1.ダリヤ園(60.5%)	9.フレンドリープラザ(30.6%)	2.豊かな自然(21.8%)	3.地酒(18.5%)	4.和牛(11.3%)
40代	1.ダリヤ園(60.4%)	9.フレンドリープラザ(35.3%)	2.豊かな自然(30.2%)	3.地酒(12.2%)	4.和牛(8.6%)
50代	1.ダリヤ園(68.1%)	2.豊かな自然(32.4%)	9.フレンドリープラザ(27.5%)	3.地酒(12.1%)	4.和牛(10.4%)
60代	1.ダリヤ園(76.8%)	2.豊かな自然・9.フレンドリープラザ(32.9%)		4.和牛(7.9%)	3.地酒(7.3%)
70代	1.ダリヤ園(77.9%)	2.豊かな自然(32.5%)	9.フレンドリープラザ(26.4%)	3.地酒(10.4%)	4.和牛(7.4%)

【男女別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答
男性	62.1%	32.9%	16.0%	12.0%	4.2%	3.0%	2.0%	5.2%	27.4%	7.0%	1.5%
女性	74.4%	29.2%	7.9%	6.7%	7.2%	5.4%	0.7%	3.8%	33.3%	7.2%	2.2%

	1	2	3	4	5
男性	1.ダリヤ園(62.1%)	2.豊かな自然(32.9%)	9.フレンドリープラザ(27.4%)	3.地酒(16.0%)	4.和牛(12.0%)
女性	1.ダリヤ園(74.4%)	9.フレンドリープラザ(33.3%)	2.豊かな自然(29.2%)	3.地酒(7.9%)	5.菓子・10.特になし(7.2%)

特筆すべき事項

【地区別】

1位から3位までは、全地区同じ傾向だが、小松、大塚の地酒、犬川の文化財、玉庭の和牛、中郡、吉島の紅大豆など、4位以降は各地区の特徴が見える。

【年代別】

年代別では順位に大きな傾向の違いを見ることはできないが、ダリヤ園については、年代が上がるごとに回答率が上がっており、ダリヤ園(ダリヤ)に対する愛着は、年代が上がるに従って強くなる傾向にある。

自由意見

- ・置賜の中心であることをもっとPRすべき。せっかく真ん中にあるのにもったいない。(30代・女性)
- ・若い人、子どもに、川西町の良さを実感させられるような、情報提供、教育を充実していくことが必要である。(30代・男性)

問7 今後、商工業の振興を図るうえで何がより重要だと思われますか。(2つに〇)

回 答	回答人数	回答率
1.中心商店街の活性化	187	22.3%
2.イベントの開催やサービス等の販売促進対策の充実	139	16.5%
3.大型商業施設や工場等の誘致	246	29.3%
4.起業や新しい分野への進出の支援	103	12.3%
5.製造品等のPRの強化	57	6.8%
6.新たな特産品の開発	78	9.3%
7.その他	15	1.8%

「3.大型商業施設や工場等の誘致」が約30%で最も多く、続いて「1.中心商店街の活性化」となっている。

新たな商業施設や工場など、新たな商工業の拠点の設置を期待する回答が多かった。

【地区別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	無回答
小 松	25.2%	15.9%	24.8%	12.8%	10.1%	6.2%	2.3%	2.7%
大 塚	19.3%	21.0%	34.5%	13.4%	3.4%	4.2%	1.7%	2.5%
犬 川	20.4%	14.3%	28.6%	15.3%	7.1%	8.2%	2.0%	4.1%
中 郡	18.5%	15.3%	31.8%	9.6%	6.4%	13.4%	1.3%	3.8%
玉 庭	38.9%	13.0%	18.5%	9.3%	5.6%	11.1%	3.7%	0.0%
東 沢	29.7%	16.2%	24.3%	5.4%	5.4%	18.9%	0.0%	0.0%
吉 島	14.6%	17.9%	35.8%	12.2%	4.1%	12.2%	0.8%	2.4%

	1	2	3
小 松	1.中心商店街の活性化(25.2%)	3.大型商業施設の誘致(24.8%)	2.イベントやサービスの充実(15.9%)
大 塚	3.大型商業施設の誘致(34.5%)	2.イベントやサービスの充実(21.0%)	1.中心商店街の活性化(19.3%)
犬 川	3.大型商業施設の誘致(28.6%)	1.中心商店街の活性化(20.4%)	4.起業の支援(15.3%)
中 郡	3.大型商業施設の誘致(31.8%)	1.中心商店街の活性化(18.5%)	2.イベントやサービスの充実(15.3%)
玉 庭	1.中心商店街の活性化(38.9%)	3.大型商業施設の誘致(18.5%)	2.イベントやサービスの充実(13.0%)
東 沢	1.中心商店街の活性化(29.7%)	3.大型商業施設の誘致(24.3%)	6.特産品の開発(18.9%)
吉 島	3.大型商業施設の誘致(35.8%)	2.イベントやサービスの充実(17.9%)	1.中心商店街の活性化(14.6%)

【年代別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	無回答
20代	17.3%	22.7%	29.3%	8.0%	10.7%	6.7%	4.0%	1.3%
30代	25.0%	17.7%	32.3%	9.7%	6.5%	7.3%	1.6%	0.0%
40代	23.0%	15.1%	32.4%	11.5%	7.2%	7.9%	2.2%	0.7%
50代	16.5%	19.2%	30.8%	13.2%	8.2%	8.2%	0.5%	3.3%
60代	23.2%	11.6%	23.8%	18.3%	6.1%	11.6%	2.4%	3.0%
70代	26.4%	15.3%	27.0%	9.2%	3.1%	11.7%	1.2%	6.1%

	1	2	3
20代	3.大型商業施設の誘致(29.3%)	2.イベントやサービスの充実(22.7%)	1.中心商店街の活性化(17.3%)
30代	3.大型商業施設の誘致(32.3%)	1.中心商店街の活性化(25.0%)	2.イベントやサービスの充実(17.7%)
40代	3.大型商業施設の誘致(32.4%)	1.中心商店街の活性化(23.0%)	2.イベントやサービスの充実(15.1%)
50代	3.大型商業施設の誘致(30.8%)	2.イベントやサービスの充実(19.2%)	1.中心商店街の活性化(16.5%)
60代	3.大型商業施設の誘致(23.8%)	1.中心商店街の活性化(23.2%)	4.起業の支援(18.3%)
70代	3.大型商業施設の誘致(27.0%)	1.中心商店街の活性化(26.4%)	2.イベントやサービスの充実(15.3%)

【男女別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	無回答
男性	20.2%	14.7%	33.7%	14.0%	4.2%	10.0%	1.7%	0.5%
女性	23.6%	18.0%	24.9%	10.6%	8.8%	8.5%	1.8%	0.7%

	1	2	3
男性	3.大型商業施設の誘致(33.7%)	1.中心商店街の活性化(20.2%)	2.イベントやサービスの充実(14.7%)
女性	3.大型商業施設の誘致(24.9%)	1.中心商店街の活性化(23.6%)	2.イベントやサービスの充実(18.0%)

自由意見

- ・ホッケーの大会が開かれても、宿泊が他市町村では、もったいないと思う。(40代・男性)
- ・駅近辺にぜひビジネスホテルを。「まどか」でも良いが、もっとカジュアルに泊まれる場所が必要である。泊まって食べて飲んでもらわないと町に金は落ちない。(40代・女性)
- ほかに宿泊施設に関する意見多数。
- ・小松集中でなく、置賜病院近辺を活性化させるべきだと思う。国道に近く、西置賜、長井市、南陽市に近く、発展すべき地域と思う。(20代・女性)
- ・大型ショッピングモールをつくるよりも、他の町にないような専門的な店を誘致した方がよいと思う。(30代・男性)
- ・自然エネルギー(小水力発電、メガソーラー等)の研究開発はできないか。(70代・男性)

問8 今後、観光の振興を図るうえで何がより重要だと思われますか。(2つに〇)

回 答	回答人数	回答率
1 ダリヤ園など既存の観光施設の充実	248	29.5%
2 新たな観光拠点の整備	112	13.3%
3 町内産業と連携した特産品の開発	106	12.6%
4 イベントや祭りの充実	115	13.7%
5 近隣市町との観光連携の強化	172	20.5%
6 伝統芸能等、文化・歴史資源を活かした観光の強化	58	6.9%
7 その他	17	2.0%

最も高い回答率だったのは「1.ダリヤ園など既存の観光施設の充実」で、ダリヤ園をはじめとする既存の観光施設の充実及び効果的な活用を重要視する回答が多かった。

続いて、「5.近隣市町との観光連携の強化」の回答率が高く、県や置賜圏内の他市町と連携した広域的な観光施策の強化も重要視されてきている。

【地区別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	無回答
小 松	31.4%	13.2%	10.5%	15.5%	19.0%	7.0%	2.3%	1.2%
大 塚	28.6%	10.1%	15.1%	11.8%	21.0%	9.2%	2.5%	1.7%
犬 川	22.4%	11.2%	14.3%	20.4%	19.4%	6.1%	3.1%	3.1%
中 郡	29.9%	16.6%	9.6%	12.7%	22.3%	5.7%	0.6%	2.5%
玉 庭	31.5%	13.0%	11.1%	13.0%	24.1%	3.7%	0.0%	3.7%
東 沢	27.0%	16.2%	13.5%	8.1%	24.3%	8.1%	2.7%	0.0%
吉 島	30.9%	13.0%	16.3%	8.9%	17.1%	8.1%	2.4%	3.3%

	1	2	3
小 松	1.既存観光施設の充実(31.4%)	5.観光連携の強化(19.0%)	4.イベントや祭りの充実(15.5%)
大 塚	1.既存観光施設の充実(28.6%)	5.観光連携の強化(21.0%)	3.特産品の開発(15.1%)
犬 川	1.既存観光施設の充実(22.4%)	3.特産品の開発(20.4%)	5.観光連携の強化(19.4%)
中 郡	1.既存観光施設の充実(29.9%)	5.観光連携の強化(22.3%)	2.新たな観光拠点の整備(16.6%)
玉 庭	1.既存観光施設の充実(31.5%)	5.観光連携の強化(24.1%)	2.新たな観光拠点の整備他(13.0%)
東 沢	1.既存観光施設の充実(27.0%)	5.観光連携の強化(24.3%)	2.新たな観光拠点の整備(16.2%)
吉 島	1.既存観光施設の充実(30.9%)	5.観光連携の強化(17.1%)	3.特産品の開発(16.3%)

【年代別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	無回答
20代	29.3%	17.3%	9.3%	22.7%	10.7%	8.0%	1.3%	1.3%
30代	23.4%	18.5%	6.5%	24.2%	18.5%	6.5%	2.4%	0.0%
40代	30.2%	12.2%	7.9%	15.1%	23.0%	6.5%	3.6%	1.4%
50代	27.5%	13.2%	15.4%	14.3%	20.3%	5.5%	0.5%	3.3%
60代	31.1%	14.0%	12.2%	7.3%	25.0%	6.1%	3.0%	0.6%
70代	33.7%	7.4%	19.6%	5.5%	18.4%	9.2%	1.2%	4.9%

	1	2	3
20代	1.既存観光施設の充実(29.3%)	4.イベントや祭りの充実(22.7%)	1.既存観光施設の充実(17.3%)
30代	4.イベントや祭りの充実(24.2%)	1.既存観光施設の充実(23.4%)	2.新たな観光拠点の整備(18.5%)
40代	1.既存観光施設の充実(30.2%)	5.観光連携の強化(23.0%)	4.イベントや祭りの充実(15.1%)
50代	1.既存観光施設の充実(27.5%)	5.観光連携の強化(20.3%)	3.特産品の開発(15.4%)
60代	1.既存観光施設の充実(31.1%)	5.観光連携の強化(25.0%)	2.新たな観光拠点の整備(14.0%)
70代	1.既存観光施設の充実(33.7%)	3.特産品の開発(19.6%)	5.観光連携の強化(18.4%)

【男女別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	無回答
男性	29.2%	13.2%	11.5%	13.2%	21.9%	6.5%	2.5%	2.0%
女性	29.7%	13.3%	13.5%	13.9%	18.7%	7.0%	1.6%	2.2%

	1	2	3
男性	1.既存観光施設の充実(29.2%)	5.観光連携の強化(21.9%)	2.新たな観光拠点の整備 4.イベントや祭りの充実(13.2%)
女性	1.既存観光施設の充実(29.7%)	5.観光連携の強化(18.7%)	4.イベントや祭りの充実(13.9%)

自由意見

- ・空き地が多いので、大型のドッグランを作ってほしい。わざわざ寒河江まで行くという話も聞くと、飼っている人も増え、年間通して利用者を見込める。ドッグランで他市町村から、人を呼び込むことで、町も活性化するのは。(40代・女性)
- ・自然を楽しめる避暑地やサイクリングロードがあれば楽しめると思う。都市には都市、田舎には田舎の良さがある。都市に住む人には特に、川西ののどかな環境は魅力的に映ると思う。(20代・女性)
- ・川西町には、観光客がお金を使うところがない。お金を使ってもらうためには、川西独自のB級グルメや特産品が必要では。ダリヤ園は、開園期間が限られているし、目玉となるお土産もない。(50代・男性)
- ・川西町にわざわざ来ていただけるような何かが欲しいような気がする。例えば、川西町でしか食べられないような物があれば良いと思う。(30代・男性)
- ・西大塚駅を観光で訪れる人が割とたくさんいる。鉄道マニアさんたちをターゲットにした取組みをしてみても。(30代・女性)

問9 町内での雇用の確保・拡大を図るうえで何がより有効だと思われますか。(1つに○)

回 答	回答人数	回答率
1 企業の誘致	306	36.4%
2 既存企業の支援	106	12.6%
3 起業活動の支援	105	12.5%
4 ショッピングモールやレジャー施設など大型商業施設の誘致	192	22.9%
5 農業分野での雇用の創出	105	12.5%
6 その他	6	0.7%

1位が「1.企業の誘致」、2位が「4.大型商業施設の誘致」と、新たな雇用の場を町外から誘致するという回答が多数を占め、2つの回答率を合わせると約60%に上った。

以下、まんべんなく回答は分かれた。

【地区別集計】

	1	2	3	4	5	6	無回答
小 松	34.1%	15.5%	12.8%	23.6%	10.1%	1.2%	2.7%
大 塚	36.1%	10.9%	12.6%	25.2%	11.8%	0.0%	3.4%
犬 川	34.7%	12.2%	11.2%	21.4%	13.3%	1.0%	0.0%
中 郡	35.7%	9.6%	8.3%	24.8%	17.8%	0.0%	3.8%
玉 庭	37.0%	9.3%	13.0%	18.5%	18.5%	1.9%	1.9%
東 沢	48.6%	13.5%	13.5%	16.2%	2.7%	2.7%	2.7%
吉 島	39.0%	12.2%	16.3%	20.3%	9.8%	0.0%	2.4%

	1	2	3
小 松	1.企業誘致(34.1%)	4.大型商業施設の誘致(23.6%)	2.既存企業の支援(15.5%)
大 塚	1.企業誘致(36.1%)	4.大型商業施設の誘致(25.2%)	3.起業活動の支援(12.6%)
犬 川	1.企業誘致(34.7%)	4.大型商業施設の誘致(21.4%)	5.農業で雇用創出(13.3%)
中 郡	1.企業誘致(35.7%)	4.大型商業施設の誘致(24.8%)	5.農業で雇用創出(17.8%)
玉 庭	1.企業誘致(37.0%)	4.大型商業施設の誘致・5.農業で雇用創出(18.5%)	
東 沢	1.企業誘致(48.6%)	4.大型商業施設の誘致(16.2%)	2.既存企業の支援 3.起業活動の支援(13.5%)
吉 島	1.企業誘致(39.0%)	4.大型商業施設の誘致(20.3%)	3.起業活動の支援(16.3%)



【年代別集計】

	1	2	3	4	5	6	無回答
20代	30.7%	10.7%	6.7%	37.3%	12.0%	1.3%	1.3%
30代	29.8%	12.9%	8.9%	33.9%	10.5%	0.8%	3.2%
40代	32.4%	14.4%	12.2%	26.6%	11.5%	2.2%	0.0%
50代	33.5%	13.2%	18.7%	21.4%	11.5%	0.0%	1.6%
60代	44.5%	12.2%	12.8%	14.6%	11.6%	0.0%	4.3%
70代	41.1%	10.4%	10.4%	13.5%	16.6%	0.6%	7.4%

	1	2	3
20代	4.大型商業施設の誘致(37.3%)	1.企業誘致(30.7%)	5.農業で雇用創出(12.0%)
30代	4.大型商業施設の誘致(33.9%)	1.企業誘致(29.8%)	2.既存企業の支援(12.9%)
40代	1.企業誘致(32.4%)	4.大型商業施設の誘致(26.6%)	2.既存企業の支援(14.4%)
50代	1.企業誘致(33.5%)	4.大型商業施設の誘致(21.4%)	3.起業活動の支援(18.7%)
60代	1.企業誘致(44.5%)	4.大型商業施設の誘致(14.6%)	3.起業活動の支援(12.8%)
70代	1.企業誘致(41.1%)	5.農業で雇用創出(16.6%)	4.大型商業施設の誘致(13.5%)

【男女別集計】

	1	2	3	4	5	6	無回答
男性	37.9%	10.2%	14.5%	21.7%	12.5%	0.5%	2.7%
女性	34.4%	14.4%	10.6%	23.6%	12.4%	0.9%	0.0%

	1	2	3
男性	1.企業誘致(37.9%)	4.大型商業施設の誘致(21.7%)	3.起業活動の支援(14.5%)
女性	1.企業誘致(34.4%)	4.大型商業施設の誘致(23.6%)	2.既存企業の支援(14.4%)

特筆すべき事項

【年代別】

- ・若い世代（20・30代）で、「4.大型商業施設の誘致」が1位となっているのは、買い物対策としての大型商業施設への期待度も含まれているものと思われる。

自由意見

- ・町で農業と商工業をセットにし、大きな産業を立ち上げるべきだと思う。もちろん、働く人は、子育てをしている主婦を起用してほしい。私も農業をしたいと思うが、働くきっかけや場所がない。インターネットを使って、販売をしたり、イベントを立ち上げて売り込みをしてみたい。もっと、主婦が輝ける場所にしてほしい。（30代・女性）

問 11 高齢化社会への対応として、何がより重要だと思いますか（期待されますか。）（2つに○）

回 答	回答人数	回答率
1.高齢者の生きがいづくりや働く場の充実	271	32.3%
2.高齢者を地域で見守る地域連携の強化	151	18.0%
3.介護保険サービスや施設の充実	327	38.9%
4.医療機関の充実	118	14.0%
5.健康づくりや介護予防などの推進	142	16.9%
6.公共交通手段の確保	184	21.9%
7.在宅で介護している家族などへの支援	288	34.3%
8.ホームヘルパーなど福祉関係の人材育成	88	10.5%
9.その他	8	1.0%

「3.介護保険サービスや施設の充実」、「7.在宅で介護している家族などへの支援」、「1.生きがいづくりや働く場の充実」の順で高い回答率となっており、30%を超えている。  
 「3」、「7」は介護に関する事項であり、現在の介護サービスへの不満と共に、今後、本人及び家族が、介護が必要となった場合の対応に不安を抱いているものと考えられる。

【地区別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
小 松	33.7%	17.4%	42.2%	16.7%	15.1%	20.5%	31.8%	8.5%	1.9%	1.9%
大 塚	32.8%	17.6%	37.0%	12.6%	19.3%	20.2%	37.0%	13.4%	0.0%	2.5%
犬 川	30.6%	19.4%	41.8%	9.2%	18.4%	21.4%	38.8%	8.2%	2.0%	0.0%
中 郡	26.1%	19.7%	35.0%	16.6%	17.2%	18.5%	39.5%	8.9%	0.6%	3.8%
玉 庭	37.0%	16.7%	25.9%	20.4%	11.1%	29.6%	27.8%	9.3%	0.0%	5.6%
東 沢	35.1%	27.0%	32.4%	5.4%	10.8%	29.7%	32.4%	16.2%	0.0%	2.7%
吉 島	33.3%	13.0%	42.3%	9.8%	19.5%	24.4%	26.8%	13.8%	0.0%	4.1%

	1	2	3	4	5
小 松	3.介護サービスの充実(42.2%)	1.生きがいや働く場の充実(33.7%)	7.介護家族への支援(31.8%)	6.交通手段の確保(20.5%)	2.地域連携の強化(17.4%)
大 塚	3.介護サービスの充実・7.介護家族への支援(37.0%)		1.生きがいや働く場の充実(32.8%)	6.交通手段の確保(20.2%)	5.介護予防の推進(19.3%)
犬 川	3.介護サービスの充実(41.8%)	7.介護家族への支援(38.8%)	1.生きがいや働く場の充実(30.6%)	6.交通手段の確保(21.4%)	2.地域連携の強化(19.4%)
中 郡	7.介護家族への支援(39.5%)	3.介護サービスの充実(35.0%)	1.生きがいや働く場の充実(26.1%)	2.地域連携の強化(19.7%)	6.交通手段の確保(18.5%)
玉 庭	1.生きがいや働く場の充実(37.0%)	6.交通手段の確保(29.6%)	7.介護家族への支援(27.8%)	3.介護サービスの充実(25.9%)	4.医療機関の充実(20.4%)
東 沢	1.生きがいや働く場の充実(35.1%)	3.介護サービスの充実・7.介護家族への支援(32.4%)		6.交通手段の確保(29.7%)	2.地域連携の強化(27.0%)
吉 島	3.介護サービスの充実(42.3%)	1.生きがいや働く場の充実(33.3%)	7.介護家族への支援(26.8%)	6.交通手段の確保(24.4%)	5.介護予防の推進(19.5%)

【年代別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
20代	34.7%	24.0%	44.0%	17.3%	13.3%	17.3%	30.7%	6.7%	1.3%	0.0%
30代	32.3%	11.3%	37.1%	11.3%	12.1%	21.8%	50.0%	8.1%	3.2%	1.6%
40代	31.7%	14.4%	38.1%	16.5%	13.7%	25.2%	36.0%	12.2%	0.7%	2.2%
50代	34.6%	15.9%	42.3%	13.7%	12.1%	23.1%	34.6%	12.6%	0.0%	2.2%
60代	34.1%	17.1%	31.1%	14.6%	26.2%	18.9%	28.7%	8.5%	1.2%	6.1%
70代	25.8%	25.8%	41.1%	11.7%	19.6%	22.1%	26.4%	11.7%	0.0%	2.5%

	1	2	3	4	5
20代	3.介護サービスの充実(44.0%)	1.生きがいや働く場の充実(34.7%)	7.介護家族への支援(30.7%)	2.地域連携の強化(24.0%)	4.医療機関の充実 6.交通手段の確保(17.3%)
30代	7.介護家族への支援(50.0%)	3.介護サービスの充実(37.1%)	1.生きがいや働く場の充実(32.3%)	6.交通手段の確保(21.8%)	5.介護予防の推進(12.1%)
40代	3.介護サービスの充実(38.1%)	7.介護家族への支援(36.0%)	1.生きがいや働く場の充実(31.7%)	6.交通手段の確保(25.2%)	4.医療機関の充実(16.5%)
50代	3.介護サービスの充実(42.3%)	1.生きがいや働く場の充実・7.介護家族への支援(34.6%)		6.交通手段の確保(23.1%)	2.地域連携の強化(15.9%)
60代	1.生きがいや働く場の充実(34.1%)	3.介護サービスの充実(31.1%)	7.介護家族への支援(28.7%)	5.介護予防の推進(26.2%)	6.交通手段の確保(18.9%)
70代	3.介護サービスの充実(41.1%)	7.介護家族への支援(26.4%)	1.生きがいや働く場の充実・2.地域連携の強化(25.8%)		6.交通手段の確保(22.1%)

【男女別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
男性	33.7%	19.5%	37.7%	16.7%	12.5%	19.0%	34.9%	11.0%	1.2%
女性	30.6%	16.4%	39.6%	11.5%	20.2%	24.0%	33.3%	9.9%	0.7%

	1	2	3	4	5
男性	3.介護サービスの充実(37.7%)	7.介護家族への支援(34.9%)	1.生きがいや働く場の充実(33.7%)	2.地域連携の強化(19.5%)	6.交通手段の確保(19.0%)
女性	3.介護サービスの充実(39.6%)	7.介護家族への支援(33.3%)	1.生きがいや働く場の充実(30.6%)	6.交通手段の確保(24.0%)	4.医療機関の充実(20.2%)

特筆すべき事項

【地区別】

玉庭・東沢地区において、「6.公共交通手段の確保」の回答率が約30%と他地区と比較しても高い回答率となっており、山間部における高齢者の「足」への不安が表れている。

【年代別】

60代の回答は、他の年代の回答の傾向と異なり、1位が、「1.生きがいづくりや働く場の充実」(34.1%)、4位に「5.健康づくりや介護予防などの推進」(26.2%)と、介護を必要としない、健康な身体と心づくりを重要視する傾向となった。60代の健康への意識、健康づくり事業へのニーズは他の年代と比べても高いと言える。

自由意見

- ・私の住んでいるところは、町のはずれの方だが、段々年を取って、車も運転できなくなると、買い物も大変になる。近くにスーパーなどがあれば良いと思う。(50代・女性)
- ・空き家対策として、所有者との連携を図り、グループホーム等に利用できないか。町が関わって運営を行えば、入所者も貸主も安心して活用できると思う。(70代・男性)
- ・医療介護への情報源が少なく、利用したい時にすぐに利用できない。(20代・男性)
- ・高齢者や中高年の方への栄養支援を目的とした配食サービスを導入してほしい。町職員や民生委員だけでなく、近所等の見守り支援を強化してほしい。(40代・男性)

問 12 少子化・子育て対策として、何がより重要だと思いますか（期待されますか。）（2つに○）

回 答	回答人数	回答率
1.小児医療体制の充実	110	13.1%
2.子どもが安心して学び・遊べる場や親子で過ごせる施設の充実	263	31.3%
3.乳児保育、一時保育など多様な保育施設の整備・充実	239	28.5%
4.子育て及び教育に対する経済的な支援	307	36.5%
5.家事や育児に関する講習会などの開催	25	3.0%
6.結婚相談など支援体制の充実	191	22.7%
7.若者の定住促進	400	47.6%
8.その他	17	2.0%

「7.若者の定住促進」の回答が約半数に上り、少子化対策として、若者が住み続けたいとなるまちづくりの重要性を感じさせる結果である。

以下、「4.子育て及び教育に対する経済的な支援」、「2.子どもが安心して学び・遊べる場や親子で過ごせる施設の充実」と、子育て対策の項目が続き、共に30%を超える高い回答率となった。

【地区別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
小 松	14.0%	35.7%	32.2%	30.6%	2.7%	20.2%	44.2%	3.1%	4.3%
大 塚	14.3%	33.6%	30.3%	37.8%	4.2%	20.2%	42.9%	2.5%	3.4%
犬 川	12.2%	23.5%	28.6%	48.0%	4.1%	20.4%	49.0%	2.0%	2.0%
中 郡	14.0%	31.2%	21.7%	37.6%	3.2%	25.5%	47.1%	0.0%	4.5%
玉 庭	7.4%	22.2%	29.6%	35.2%	1.9%	20.4%	59.3%	1.9%	5.6%
東 沢	10.8%	21.6%	32.4%	35.1%	0.0%	24.3%	56.8%	0.0%	2.7%
吉 島	13.0%	31.7%	23.6%	35.8%	2.4%	28.5%	46.3%	2.4%	3.3%

	1	2	3	4	5
小 松	7.若者の定住(44.2%)	2.公園等の整備(35.7%)	3.保育体制の充実(32.2%)	4.経済的な支援(30.6%)	6.結婚支援(20.2%)
大 塚	7.若者の定住(42.9%)	4.経済的な支援(37.8%)	2.公園等の整備(33.6%)	3.保育体制の充実(30.3%)	6.結婚支援(20.2%)
犬 川	7.若者の定住(49.0%)	4.経済的な支援(48.0%)	3.保育体制の充実(28.6%)	2.公園等の整備(23.5%)	6.結婚支援(20.4%)
中 郡	7.若者の定住(47.1%)	4.経済的な支援(37.6%)	2.公園等の整備(31.2%)	6.結婚支援(25.5%)	3.保育体制の充実(21.7%)
玉 庭	7.若者の定住(59.3%)	4.経済的な支援(35.2%)	3.保育体制の充実(29.6%)	2.公園等の整備(22.2%)	6.結婚支援(20.4%)
東 沢	7.若者の定住(56.8%)	4.経済的な支援(35.1%)	3.保育体制の充実(32.4%)	6.結婚支援(24.3%)	2.公園等の整備(21.6%)
吉 島	7.若者の定住(46.3%)	4.経済的な支援(35.8%)	2.公園等の整備(31.7%)	6.結婚支援(28.5%)	3.保育体制の充実(23.6%)

【年代別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
20代	16.0%	33.3%	38.7%	42.7%	2.7%	18.7%	38.7%	0.0%	0.0%
30代	19.4%	36.3%	33.9%	50.0%	3.2%	11.3%	33.1%	4.8%	1.6%
40代	23.0%	34.5%	33.8%	39.6%	2.2%	17.3%	32.4%	1.4%	2.9%
50代	9.3%	28.0%	27.5%	31.3%	3.8%	23.1%	59.3%	1.1%	2.7%
60代	9.1%	22.0%	28.0%	31.7%	4.3%	27.4%	51.8%	3.0%	6.7%
70代	6.1%	35.6%	15.3%	29.4%	1.2%	31.9%	55.8%	1.2%	6.1%

	1	2	3	4	5
20代	4.経済的な支援(42.7%)	3.保育体制の充実・7.若者の定住(38.7%)		2.公園等の整備(33.3%)	6.結婚支援(18.7%)
30代	4.経済的な支援(50.0%)	2.公園等の整備(36.3%)	3.保育体制の充実(33.9%)	7.若者の定住(33.1%)	1.小児医療体制(19.4%)
40代	4.経済的な支援(39.6%)	2.公園等の整備(34.5%)	3.保育体制の充実(33.8%)	7.若者の定住(32.4%)	1.小児医療体制(23.0%)
50代	7.若者の定住(59.3%)	4.経済的な支援(31.3%)	2.公園等の整備(28.0%)	3.保育体制の充実(27.5%)	6.結婚支援(23.1%)
60代	7.若者の定住(51.8%)	4.経済的な支援(31.7%)	3.保育体制の充実(28.0%)	6.結婚支援(27.4%)	2.公園等の整備(22.0%)
70代	7.若者の定住(55.8%)	2.公園等の整備(35.6%)	6.結婚支援(31.9%)	4.経済的な支援(29.4%)	3.保育体制の充実(15.3%)

【男女別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
男性	12.2%	27.9%	25.2%	40.6%	2.2%	25.2%	47.4%	2.0%	3.5%
女性	13.7%	31.0%	27.2%	29.2%	3.4%	18.9%	42.0%	1.8%	0.7%

	1	2	3	4	5
男性	7.若者の定住(47.4%)	4.経済的な支援(40.6%)	2.公園等の整備(27.9%)	3.保育体制の充実・6.結婚支援(25.2%)	
女性	7.若者の定住(42.0%)	2.公園等の整備(31.0%)	4.経済的な支援(29.2%)	3.保育体制の充実(27.2%)	6.結婚支援(18.9%)

特筆すべき事項

【年代別】

子育て世代（20・30・40代）と、その上の世代では、回答の傾向が大きく異なる。  
 子育て世代については、「4.子育て及び教育に対する経済的な支援」の回答率が高く、子育てにおいて経済的な不安を感じている。

自由意見

- ・小さい子どもさんを持つ親御さんのためにも、遊べる施設（冬季でも遊べるような屋内の施設等）があると情報交換の場にもなってよいと思う。（30代・女性）
- ・時間外保育の保育料金は、他の地域に比べて価格が高いと感じる。財政が豊かでなければ改善できないことかもしれないが、子育てしやすい町とは言えないと思う。（30代・女性）
- ・若い人たちに、結婚相談などの支援の場を設けてほしい。（70代・女性）ほか多数。
- ・子育て中のお母さんの医療費を安くしてほしい。（30代・男性）
- ・共働きが多くなり、働き方も様々なので、公立幼稚園も給食にするとか、現状やニーズに対応しなければ、これからの社会についていけないと思う。（30代・女性）

問 13 若者の定住対策として、何がより重要だと思いますか（期待されますか。）（1つに○）

回 答	回答人数	回答率
1.雇用の確保	458	54.5%
2.若者向けの町営住宅の整備や新築補助など住宅対策の充実	141	16.8%
3.子育て環境の充実	99	11.8%
4.交通及び情報基盤の強化	37	4.4%
5.学校教育などの教育環境の充実	16	1.9%
6.まちのにぎわいの創出	57	6.8%
7.その他	9	1.1%

「1雇用の確保」が半数以上の回答を集めた。ここでも雇用促進への高い意識、期待を感じさせる結果になった。

【地区別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	無回答
小 松	54.3%	18.2%	12.4%	4.3%	1.6%	5.8%	0.8%	2.7%
大 塚	61.3%	11.8%	12.6%	4.2%	3.4%	3.4%	0.8%	2.5%
犬 川	55.1%	18.4%	13.3%	4.1%	1.0%	4.1%	1.0%	3.1%
中 郡	47.8%	16.6%	12.7%	5.7%	3.2%	8.9%	0.0%	4.5%
玉 庭	53.7%	18.5%	11.1%	1.9%	0.0%	7.4%	1.9%	5.6%
東 沢	54.1%	18.9%	8.1%	0.0%	0.0%	16.2%	0.0%	2.7%
吉 島	53.7%	15.4%	7.3%	5.7%	1.6%	8.1%	3.3%	4.9%

	1	2	3
小 松	1.雇用の確保(54.3%)	2.住宅対策の充実(18.2%)	3.子育て環境の充実(12.4%)
大 塚	1.雇用の確保(61.3%)	3.子育て環境の充実(12.6%)	2.住宅対策の充実(11.8%)
犬 川	1.雇用の確保(55.1%)	2.住宅対策の充実(18.4%)	3.子育て環境の充実(13.3%)
中 郡	1.雇用の確保(47.8%)	2.住宅対策の充実(16.6%)	3.子育て環境の充実(12.7%)
玉 庭	1.雇用の確保(53.7%)	2.住宅対策の充実(18.5%)	3.子育て環境の充実(11.1%)
東 沢	1.雇用の確保(54.1%)	2.住宅対策の充実(18.9%)	6.まちの賑わいの創出(16.2%)
吉 島	1.雇用の確保(53.7%)	2.住宅対策の充実(15.4%)	6.まちの賑わいの創出(8.1%)

【年代別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	無回答
20代	53.3%	20.0%	12.0%	2.7%	0.0%	9.3%	2.7%	0.0%
30代	41.9%	22.6%	18.5%	4.0%	1.6%	8.9%	0.8%	1.6%
40代	56.1%	14.4%	12.9%	6.5%	0.0%	5.0%	2.2%	2.9%
50代	60.4%	17.0%	9.3%	4.9%	0.5%	4.4%	0.5%	2.2%
60代	57.3%	13.4%	7.9%	3.0%	4.9%	7.3%	0.6%	5.5%
70代	51.5%	15.3%	11.0%	4.3%	3.1%	7.4%	0.6%	6.7%

	1	2	3
20代	1.雇用の確保(53.3%)	2.住宅対策の充実(20.0%)	3.子育て環境の充実(12.0%)
30代	1.雇用の確保(41.9%)	2.住宅対策の充実(22.6%)	3.子育て環境の充実(18.5%)
40代	1.雇用の確保(56.1%)	2.住宅対策の充実(14.4%)	3.子育て環境の充実(12.9%)
50代	1.雇用の確保(60.4%)	2.住宅対策の充実(17.0%)	3.子育て環境の充実(9.3%)
60代	1.雇用の確保(57.3%)	2.住宅対策の充実(13.4%)	3.子育て環境の充実(7.9%)
70代	1.雇用の確保(51.5%)	2.住宅対策の充実(15.3%)	3.子育て環境の充実(11.0%)

【男女別集計】

	1	2	3	4	5	6	無回答
男性	56.9%	14.7%	12.0%	2.7%	2.2%	6.5%	1.5%
女性	45.4%	16.4%	10.6%	5.4%	1.6%	6.7%	0.7%

	1	2	3
男性	1.雇用の確保(56.9%)	2.住宅対策の充実(14.7%)	3.子育て環境の充実(12.0%)
女性	1.雇用の確保(45.4%)	2.住宅対策の充実(16.4%)	3.子育て環境の充実(10.6%)

特筆すべき事項

【年代別】

「2.住宅対策の充実」の回答率は、若い世代でより高くなっており、若い世代における住宅に対する意識は高い。また、新しい住宅を建てる際の支援に対する期待値も高い。

自由意見

・アパート等も年々増えてはいるが、家賃も高かったりするので、保育料等を支払って、川西のアパートに定住というのは厳しいのではないか。(20代・女性)

【年代別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無回答
20代	6.7%	9.3%	10.7%	10.7%	6.7%	8.0%	2.7%	18.7%	6.7%	0.0%	18.7%	0.0%
30代	3.2%	17.7%	5.6%	8.9%	5.6%	9.7%	8.1%	13.7%	8.9%	0.8%	15.3%	2.4%
40代	10.8%	17.3%	5.8%	7.9%	5.0%	12.9%	5.0%	8.6%	10.1%	2.9%	10.8%	2.9%
50代	8.8%	29.7%	6.6%	7.1%	6.6%	8.2%	5.5%	11.0%	4.4%	0.0%	6.6%	5.5%
60代	7.3%	26.8%	9.8%	1.8%	9.8%	9.8%	3.7%	4.3%	5.5%	3.0%	12.8%	5.5%
70代	11.0%	22.7%	11.7%	1.2%	11.0%	6.1%	2.5%	6.1%	3.7%	1.8%	15.3%	1.2%

	1	2	3	4	5
20代	8.スポーツ、芸術指導・11.特になし(18.7%)		3.高齢者の介助・4.子育て支援活動(10.7%)		2.清掃・美化活動(9.3%)
30代	2.清掃・美化活動(17.7%)	11.特になし(15.3%)	8.スポーツ・芸術指導(13.7%)	6.省資源活動(9.7%)	4.子育て支援活動 9.防犯、防災活動(8.9%)
40代	2.清掃・美化活動(17.3%)	6.省資源活動(12.9%)	1.座談会等への参加・特にない(10.8%)		9.防犯、防災活動(10.1%)
50代	2.清掃・美化活動(29.7%)	8.スポーツ・芸術指導(11.0%)	1.座談会等への参加(8.8%)	6.省資源活動(8.2%)	4.子育て支援活動(7.1%)
60代	2.清掃・美化活動(26.8%)	11.特になし(12.8%)	3.高齢者の介助・5.歴史や伝統を守る活動・6.省資源活動(9.8%)		
70代	2.清掃・美化活動(22.7%)	11.特になし(15.3%)	3.高齢者の介助(11.7%)	1.座談会等への参加・5.歴史や伝統を守る活動(11.0%)	

【男女別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無回答
男性	11.2%	16.7%	5.2%	1.5%	9.2%	9.0%	5.5%	13.2%	10.7%	2.2%	10.7%	4.7%
女性	5.6%	27.2%	11.0%	9.4%	6.1%	9.2%	3.8%	6.1%	2.2%	0.9%	14.2%	0.9%

	1	2	3	4	5
男性	2.清掃・美化活動(16.7%)	8.スポーツ・芸術指導(13.2%)	1.座談会等への参加(11.2%)	9.防犯、防災活動・11.特になし(10.7%)	
女性	2.清掃・美化活動(27.2%)	11.特になし(14.2%)	3.高齢者の介助(11.0%)	4.子育て支援活動(9.4%)	6.省資源活動(9.2%)

特筆すべき事項

【年代別・男女別】

年代別にみても、すべての活動で満遍なく回答を集めており、今後も様々な事業において、住民の参画が期待できる。ただ、回答から年代別及び男女別で、より参加している（してみたい）活動も見えてくることから、その年代が参加しやすい（したい）活動に絞って参画を呼び掛けることも効果的と考えられる。



問 16 「協働のまちづくり」を進めるうえで、必要なことは何だと思えますか。(1つに〇)

回 答	回答人数	回答率
1.町の情報のわかりやすく積極的な提供	220	26.2%
2.町民と行政が対話する機会の充実	143	17.0%
3.まちづくりに関する学習会の設定	28	3.3%
4.活発な集落、地域づくり活動の支援	150	17.9%
5.町民参加による計画づくりや推進にかかわる機会の設定	96	11.4%
6.地域リーダーなど人材の育成	109	13.0%
7.その他	8	1.0%
8.わからない	63	7.5%

「1.町の情報のわかりやすく積極的な提供」が最も高い回答率となった。より多くの人に、よりわかりやすく、より多くの情報を提供できるような伝達方法を、今後も検討していく必要がある。

【地区別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
小 松	29.5%	17.4%	6.6%	12.4%	11.6%	12.4%	0.4%	7.4%	2.3%
大 塚	27.7%	16.0%	0.8%	23.5%	6.7%	16.0%	0.0%	5.9%	3.4%
犬 川	25.5%	15.3%	3.1%	25.5%	12.2%	10.2%	1.0%	6.1%	1.0%
中 郡	23.6%	15.9%	3.8%	17.8%	8.9%	14.0%	0.6%	10.2%	5.1%
玉 庭	20.4%	13.0%	0.0%	18.5%	18.5%	11.1%	1.9%	9.3%	7.4%
東 沢	27.0%	27.0%	0.0%	18.9%	8.1%	8.1%	0.0%	5.4%	5.4%
吉 島	22.8%	18.7%	0.8%	15.4%	14.6%	13.0%	3.3%	6.5%	4.9%

	1	2	3
小 松	1.町の情報の積極的な提供(29.5%)	2.町民と行政が対話する機会の充実(17.4%)	4.集落、地域づくり活動の支援(12.4%)
大 塚	1.町の情報の積極的な提供(27.7%)	4.集落、地域づくり活動の支援(23.5%)	2.町民と行政が対話する機会の充実 6.人材の育成(16.0%)
犬 川	1.町の情報の積極的な提供・4.集落、地域づくり活動の支援(25.5%)		2.町民と行政が対話する機会の充実(15.3%)
中 郡	1.町の情報の積極的な提供(23.6%)	4.集落、地域づくり活動の支援(17.8%)	2.町民と行政が対話する機会の充実(15.9%)
玉 庭	1.町の情報の積極的な提供(20.4%)	4.集落、地域づくり活動の支援・5.計画づくりや推進にかかわる機会の設定(18.5%)	
東 沢	1.町の情報の積極的な提供・2.町民と行政が対話する機会の充実(27.0%)		4.集落、地域づくり活動の支援(18.9%)
吉 島	1.町の情報の積極的な提供(22.8%)	2.町民と行政が対話する機会の充実(18.7%)	4.集落、地域づくり活動の支援(15.4%)

【年代別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
20代	24.0%	17.3%	2.7%	21.3%	14.7%	9.3%	2.7%	6.7%	1.3%
30代	30.6%	14.5%	1.6%	20.2%	11.3%	12.1%	0.8%	7.3%	1.6%
40代	30.9%	20.1%	2.2%	13.7%	11.5%	10.1%	1.4%	7.9%	2.2%
50代	24.7%	17.6%	3.8%	17.0%	13.2%	11.5%	1.1%	6.6%	4.4%
60代	21.3%	14.6%	5.5%	18.9%	9.8%	15.9%	0.6%	8.5%	4.9%
70代	25.2%	17.2%	3.1%	17.2%	8.6%	16.0%	0.0%	7.4%	5.5%

	1	2	3
20代	1.町の情報の積極的な提供(24.0%)	4.集落、地域づくり活動の支援(21.3%)	2.町民と行政が対話する機会の充実(17.3%)
30代	1.町の情報の積極的な提供(30.6%)	4.集落、地域づくり活動の支援(20.2%)	2.町民と行政が対話する機会の充実(14.5%)
40代	1.町の情報の積極的な提供(30.9%)	2.町民と行政が対話する機会の充実(20.1%)	2.町民と行政が対話する機会の充実(13.7%)
50代	1.町の情報の積極的な提供(24.7%)	2.町民と行政が対話する機会の充実(17.6%)	2.町民と行政が対話する機会の充実(17.0%)
60代	1.町の情報の積極的な提供(21.3%)	4.集落、地域づくり活動の支援(18.9%)	6.人材の育成(15.9%)
70代	1.町の情報の積極的な提供(25.2%)	2.町民と行政が対話する機会の充実・4.集落、地域づくり活動の支援(17.2%)	

【男女別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
男性	22.9%	20.4%	3.0%	19.0%	12.2%	12.0%	1.2%	4.2%	5.0%
女性	28.8%	13.7%	3.6%	16.6%	10.3%	13.5%	0.7%	10.3%	3.6%

	1	2	3
男性	1.町の情報の積極的な提供(22.9%)	4.集落、地域づくり活動の支援(20.4%)	2.町民と行政が対話する機会の充実(19.0%)
女性	1.町の情報の積極的な提供(28.8%)	4.集落、地域づくり活動の支援(16.6%)	2.町民と行政が対話する機会の充実(13.7%)

自由意見

- ・どんなに素晴らしいことをやろうとしてもそれぞれに関心を持って町民が集まってくれなければ、宝の持ちぐされ。元気のある町民、ものごとに関心を持って多く集まってくれる人づくりが基本だと思う。(40代・男性)
- ・行政には予算、人員など限りがあるので、より良いまちづくりを進めていくには、町民と行政が共に行動していく必要がある。地区単位又はもっと小単位でも良いので、町から必要なものを準備してもらい町民が力を出すことによって、環境整備などできる事はたくさんあると思う。(40代・男性)
- ・まちづくりのアイデアを募集する。有望なアイデアには報償金でも付けて、募ってみることも必要。(50代・男性)
- ・正直、町からの情報源が、町報だけという世帯も少なくないと思う。1つの例として、某県の某町でやっている、町が各世帯に無線の受信機を設置し、町や地区からの情報を無線で流すということも、情報伝達の1つの手かと思う。(40代・男性)
- ・若者が集まれる場所を作ってほしい。(30代・男性) ほか多数

問 17 町の防災体制について、具体的にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(2つに〇)

回 答	回答人数	回答率
1 自主防災組織の充実	171	20.4%
2 消防団体制の充実	56	6.7%
3 防災施設（避難場所や消火栓など）の整備、充実	218	26.0%
4 高齢者や障がい者など災害時の避難に支援が必要な方に他する対応の整備	287	34.2%
5 防火防災意識の普及啓発活動	120	14.3%
6 災害情報を正確かつ早く伝達できる体制及び設備の整備	402	47.9%
7 防災訓練・消火訓練の充実	80	9.5%
8 公共施設（避難施設）の耐震化	116	13.8%
9 その他	10	1.2%

「6.災害情報を正確かつ早く伝達できる体制及び設備の整備」を約半数の方が回答しており、災害時の情報の大切さを感じさせる高い回答率となっている。

以下、「4.支援が必要な方に対する対応の整備」、「3.防災施設の整備、充実」の順となっている。

【地区別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
小 松	17.4%	7.0%	27.9%	32.6%	14.3%	46.1%	11.2%	13.6%	0.8%	2.7%
大 塚	20.2%	7.6%	27.7%	30.3%	15.1%	51.3%	9.2%	13.4%	1.7%	0.8%
犬 川	24.5%	10.2%	24.5%	25.5%	12.2%	44.9%	10.2%	15.3%	1.0%	1.0%
中 郡	25.5%	4.5%	21.7%	42.0%	12.1%	52.2%	7.0%	11.5%	0.6%	2.5%
玉 庭	16.7%	3.7%	27.8%	38.9%	11.1%	42.6%	9.3%	20.4%	3.7%	1.9%
東 沢	24.3%	2.7%	24.3%	24.3%	13.5%	56.8%	13.5%	10.8%	0.0%	2.7%
吉 島	16.3%	7.3%	26.0%	36.6%	17.9%	40.7%	7.3%	13.8%	1.6%	3.3%

	1	2	3	4	5
小 松	6.情報伝達体制(46.1%)	4.高齢者等の対応(32.6%)	3.防災施設(27.9%)	1.自主防災組織(17.4%)	5.防災意識啓発(14.3%)
大 塚	6.情報伝達体制(51.3%)	4.高齢者等の対応(30.3%)	3.防災施設(27.7%)	1.自主防災組織(20.2%)	5.防災意識啓発(15.1%)
犬 川	6.情報伝達体制(44.9%)	4.高齢者等の対応(25.5%)	1.自主防災組織・3.防災施設(24.5%)		8.公共施設の耐震化(15.3%)
中 郡	6.情報伝達体制(52.2%)	4.高齢者等の対応(42.0%)	1.自主防災組織(25.5%)	3.防災施設(21.7%)	5.防災意識啓発(12.1%)
玉 庭	6.情報伝達体制(42.6%)	4.高齢者等の対応(38.9%)	3.防災施設(27.8%)	8.公共施設の耐震化(20.4%)	1.自主防災組織(16.7%)
東 沢	6.情報伝達体制(56.8%)	1.自主防災組織・3.防災施設・4.高齢者等の対応(24.3%)			5.防災意識啓発 7.防災訓練(13.5%)
吉 島	6.情報伝達体制(40.7%)	4.高齢者等の対応(36.6%)	3.防災施設(26.0%)	5.防災意識啓発(17.9%)	1.自主防災組織(16.3%)

【年代別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
20代	20.0%	8.0%	30.7%	32.0%	10.7%	44.0%	10.7%	21.3%	1.3%	0.0%
30代	13.7%	8.9%	23.4%	33.1%	13.7%	45.2%	13.7%	21.0%	0.8%	1.6%
40代	18.0%	5.0%	33.1%	28.8%	14.4%	48.9%	5.8%	15.1%	2.2%	1.4%
50代	25.8%	4.4%	27.5%	29.1%	15.9%	51.1%	8.2%	8.8%	1.1%	1.1%
60代	18.3%	6.1%	28.0%	34.8%	16.5%	45.1%	12.8%	13.4%	0.6%	3.7%
70代	22.7%	8.6%	14.7%	44.2%	11.0%	47.2%	6.7%	9.2%	1.2%	4.3%

	1	2	3	4	5
20代	6.情報伝達体制の整備(44.0%)	4.高齢者等の対応の整備(32.0%)	3.防災施設の整備(30.7%)	8.公共施設の耐震化(21.3%)	1.自主防災組織(20.0%)
30代	6.情報伝達体制の整備(45.2%)	4.高齢者等の対応の整備(33.1%)	3.防災施設の整備(23.4%)	8.公共施設の耐震化(21.0%)	1.自主防災組織 5.防災意識啓発 7.防災訓練(13.7%)
40代	6.情報伝達体制の整備(48.9%)	3.防災施設の整備(33.1%)	4.高齢者等の対応の整備(28.8%)	1.自主防災組織の充実(18.0%)	8.公共施設の耐震化(15.1%)
50代	6.情報伝達体制の整備(51.1%)	4.高齢者等の対応の整備(29.1%)	3.防災施設の整備(27.5%)	1.自主防災組織の充実(25.8%)	5.防災意識啓発(15.9%)
60代	6.情報伝達体制の整備(45.1%)	4.高齢者等の対応の整備(34.8%)	3.防災施設の整備(28.0%)	1.自主防災組織の充実(18.3%)	5.防災意識啓発(16.5%)
70代	6.情報伝達体制の整備(47.2%)	4.高齢者等の対応の整備(44.2%)	1.自主防災組織の充実(22.7%)	3.防災施設の整備(14.7%)	5.防災意識啓発(11.0%)

【男女別集計】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
男性	25.7%	8.0%	26.2%	33.7%	13.7%	42.6%	9.0%	12.7%	1.7%	1.0%
女性	15.1%	5.4%	25.4%	34.2%	14.4%	51.5%	9.9%	14.6%	0.7%	0.4%

	1	2	3	4	5
20代	6.情報伝達体制の整備(42.6%)	4.高齢者等の対応の整備(33.7%)	3.防災施設の整備(26.2%)	1.自主防災組織(25.7%)	5.防災意識啓発(13.7%)
30代	6.情報伝達体制の整備(51.5%)	4.高齢者等の対応の整備(34.2%)	3.防災施設の整備(25.4%)	1.自主防災組織(15.1%)	8.公共施設の耐震化(14.6%)

**自由意見**

・防災について、地域で見直し、再確認し合える機会があればと思う。被害を最小限にできることに加えて、地域の活動が増え、交流も生まれ、活気にもつながるのではないかと思う。(20代・女性)



